



イベントの詳細につきましては、
ホームページにてご確認の上、お申し込みください。
また、入試については募集要項をご確認願います。



Kyoritsu Girls'

Junior & Senior High School

2026 Databook [資料篇]

Sincerity / Diligence / Friendship



Tradition&Creativity
Encounter the Most Opportunities
Since 1886

| 夏のオープンキャンパス **7/13(日)** **予約制**
8:45~13:00 4~6年生対象

| 共立祭(文化祭) **10/25(土)・26(日)** **予約制**

| 冬のオープンキャンパス **12/14(日)** **予約制**
8:45~13:00 4~6年生対象

| 2026年度一般入試日程

試験名	2/1入試	2/2入試	2/3午後入試	
入学試験	4科型	4科型	英語4技能+算数	合科型論述+算数
入学試験日	2月1日(日)	2月2日(月)	2月3日(火)午後	2月3日(火)午後

※2/1入試・2/2入試の入学手続き日は2月4日(水) ※2/3午後入試の手続き日は、①2月5日(木)または②2月10日(火)

| 2026年度帰国生入試日程

入学試験	算+国★	★英語外部検定試験の資格・スコアを得点化し、国語と比較して高得点を採用
入学試験日	11月30日(日)	

※入学手続き日は ①12月1日(月)・12月2日(火)または ②2月4日(水)

[共立女子学園の校訓]



[沿革]

- 1886年 女性が自立し、社会人として職業に就くことを目的として、教育界の先覚者34名により共立女子職業学校設立
- 1936年 共立高等女学校設置
- 1947年 共立女子中学校設置(初代校長 鳩山 薫)
- 1948年 共立女子高等学校設置
- 1986年 共立女子学園 創立100周年
- 2005年 中高新校舎高校エリア完成
- 2006年 中高新校舎中学エリア完成、高等学校からの生徒募集停止(6年完全一貫体制開始)
- 2016年 共立女子学園創立130周年
- 2018年 高等学校制服リニューアル
- 2025年 中高第8代校長に景山誠就任



神保町駅:徒歩3分 竹橋駅:徒歩5分

Kyoritsu Girls' Junior & Senior High School

共立女子中学高等学校

〒101-8433 東京都千代田区一ツ橋2-2-1
TEL (03) 3237-2744 FAX (03) 3237-2782

● E-mail chukou@kyoritsu-wu.ac.jp ● <https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/chukou/>



共立女子中学高等学校

「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、
時代を超えて“輝き、翔ばたく女性”へ

「持続可能な社会」「男女共同参画社会」のよき担い手として、
また一人ひとりが心豊かな人生を歩むために、本校では以下のよ
うな「育てたい生徒像」を教育目標として掲げました。

「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、時代を超えて“輝き、翔ばたく女性”

中高6年間の教育を通じて、将来どのような場所・場面におい
ても、輝き、翔ばたくことができる女性を育てること、それこそが本
校の伝統に沿った教育の使命であると考えています。

生徒全員が6年間で「誠実」「勤勉」「友愛」の徳性を身につけ、
「周囲と協調しながら個性を発揮」しつつ、「自立を志向し、社会
に貢献」できる女性に育つよう、教職員一同努力して参ります。

教育改革で求められる
「思考力」「判断力」「表現力」は
共立の中で育まれる力

先行き不透明な大学入試改革や、総合型選抜(旧 AO入試)・
学校推薦型選抜(旧 推薦入試)の増加などを不安に感じていらっ
しゃる方も多いのではないのでしょうか。たしかにAIの発達により、た
だ知識を多く蓄積しているだけでは評価されない時代になってきて
います。今後、求められるのは人間にしか持ち得ない「思考力」「判
断力」「表現力」。これらは受験科目だけに特化していない、共立の
リベラルアーツの中でこそ育まれる力です。さらに本校の1学年
320人の中、全員が「権限によらないリーダーシップ」を発揮するこ
とで、社会に前向きな変化を起こせる礎を築きます。

学習と生活関連	P2~27
募集要項・入試関連	P28~35
PTA・安全管理・通学圏関連	P36~38



【学習と生活】

〔学習計画&進学指導〕

■カリキュラム—1：教育課程とコース編成	P3, 4
■カリキュラム—2：主要教科の時間配分と進度	P5, 6
■6年間の教科別学習計画	P7~16
■進学指導&大学合格実績	P17, 18
■グローバル教育	P19, 20
■海外大学進学推薦制度・長期休暇講座	P21
■学習・進路 Q&A	P22

〔学校生活〕

■生活時間・制服・教職員データ	P23
■健康・心の相談体制	P24
■部活動	P25, 26
■学校生活 Q&A	P27

4+2 システム

【前半4年間】 主体的な学習姿勢を作り上げ、学び続けることと、将来像を描き出すための多様な啓発を実現していくために、各教科をバランスよく配しています。本質を見つめた深みある授業が、「全てに一生懸命な共立生」、「大志を抱く共立生」を育てていくのです。また、毎年クラス替えを行い、様々な生徒や教員と出会うことで、多様な価値観を学びます。

【後半2年間】 高2からは、進学志望分野・学部徐々に焦点を絞込んだ学習が行えるよう、文系、理系の2コース制を敷いています。そして高3では、更に国公立文系、私立文系、理系の3コースに分かれます。志望校・学部の受験科目にさらに的を絞った履修が行えるよう、選択科目を多く設定し、より高いレベルの志望校合格を目指した受験体制を整えています。

※大学入試や社会状況の変化にともない、生徒の志望や学力にも変化が生じます。本校ではそれに合わせて最適な環境をつくるため、カリキュラムを調整することがあります。



●習熟度別授業

本校では一人ひとりの理解度に合わせた授業を行っています。そのため複数科目で数段階の習熟度別授業編成を展開しています。基幹教科である国語・数学・英語は、一部を除き、高校2年までに教科書レベルを終了するカリキュラムが用意されています。個々の状況に見合ったきめ細かな指導を行うために、英語では中学1年次より少人数授業を行い、1年次の途中からはさらに習熟度を加味します。また数学も1年次の途中から習熟度別授業となります。さらに高校では時間数も一層拡大されて、基幹教科以外でも実施されるようになります。

●コースの目的と概要

高 2

文系対応コース

文系科目に重点を置いて学びます。私立文系だけでなく、国公立文系や数学が必要な社会科学系学部に対応できるよう、数学や理科なども選択することができます。

理系対応コース

文系科目を少なくし、理系進学希望者が学べき科目を多く履習できるように設定されたコースです。

高 3

国公立文系コース

文系科目以外にも理数科目が履修できるように設定されたコースです。(数学が必要な私立文系にも対応可)

私立文系コース

文系進学希望者が個々の志向に合わせて必要な科目を履修できるように設定されたコースです。

理系コース

理系進学希望者が個々の志向に合わせて必要な科目を履習できるように設定されたコースです。

●週間授業時間数(2025年度入学生の6年間教育課程予定) ※太字は必修教科目を表す ※下線の科目は学校設定科目

		中1	中2	中3
国語	(うち書写)	4.5	5	6
	(うち国語表現)	(0.5) (1)	(1) (1)	(1)
社会	地理	2	2	・
	歴史	2	2	・
	公民	・	・	3
数学		5	5	6
理科	理科1	2	2	2
	理科2	2	2	2
音楽		2	1.5	1
美術		2	1.5	1
保健体育		3	3	3
技術・家庭		2	2	1
英語(うち会話)		5.5 (1)	6 (1)	7 (1)
道徳／礼法		1	1	1
特別活動		1	1	1

中学の「総合的な学習の時間」は、「リーダーシッププログラム」(1年・2年)、「ソーシャルチェンジ」(3年)でのレポート作成やプレゼンテーションを通して行っています。

高1	
現代の国語	3
言語文化	2
歴史総合	2
数学II	4
数学B	2
物理基礎	2
化学基礎	2
生物基礎	2
体育	2
保健	1
芸術I (音・美・工・書)	2
中国語I	4
英語コミュニケーションI	4
英語論理・表現I	2
英会話	1
家庭基礎	2

中学3年で履修(現行)
【併設校特例】

数学I*	3
数学A	2

高2			
【文系】		【理系】	
公共	2	公共	2
地理総合	2	地理総合	2
体育	2	体育	2
保健	1	保健	1
論理国語	3	論理国語	3
古典探究	4	古典演習	2
日本史探究	5	数学C*	2
世界史探究	5	数学演習B*	2
英語コミュニケーションII	4	物理	4
英語論理・表現II	2	生物	4
英会話	1	化学	4
英語演習	2	英語コミュニケーションII	4
化学生物基礎演習A	2	英語論理・表現II	2
家庭実践	2	英会話	1
芸術II(音・美・工・書)	2	共立探究実践	1
中国語I	2		
フランス語I	2		
食物	2		
数学C(2)*	4		
数学演習A(2)*	4		
化学	4		
生物	4		
共立探究実践	1		

2科目(2+2)または理数科目
(数学は2科目で1セット)

【文理共通】
総合的な探究の時間について
1学年の「表現力育成」「アクティ
ブ・ラーニング型」の両プログラム、
2学年の「修学旅行学習レポート」、
3年間を通じての「進路研究」を「総
合的な探究の時間」に充てます。
「総合的な探究の時間」は平常の授
業時間には組み込まず、不定期の
授業あるいは休暇中の自宅学習時
間等を活用して行います。
(※なお、高校2年の「共立探究実
践」は自由選択科目で、全員が共通
して履修する「総合的な探究の時
間」には含まれません。)

高3			
【国公立文系・私文数学】		【私立文系】	
体育	3	体育	3
現代文講読	2	現代文講読	2
古典講読	2	古典講読	2
英語コミュニケーションIII	4	英語コミュニケーションIII	4
英語論理・表現III	2	英語論理・表現III	2
情報I	2	情報I	2
国語表現演習	2	国語表現演習	2
古典特講	2	古典特講	2
日本史応用探究(4)	4	地理探究(3)	3/4
世界史応用探究(4)	4	日本史応用探究(4)	3/4
数学特演(4)	4	世界史応用探究(4)	3/4
地理探究	3/6	日本史論述演習	2/0
数学特講	3/6	世界史論述演習	2/0
化学特講	3/6	地理演習	2/0
生物特講	3/6	美術演習	2/0
※2科目選択する場合の組み合わせ →理科2科目の組み合わせは不可		倫理	2/0
倫理	2/4	政治・経済	2/0
政治・経済	2/4	中国語II	2/0
化学生物基礎演習B	2/4	フランス語II	2/0
化学実験	2/4	芸術II(音・美・工・書)	2/0
生物演習	2/0	基礎英文法	2/0
日本史論述演習	2/0	選択英会話	2/0
世界史論述演習	2/0	食物	2/0
美術演習	2/0	被服	2/0
地理演習	2/0	英語総合演習	2/0
倫理演習	2/0	美術史概説	2/0
政経演習	2/0		
英語総合演習	2/0		
選択英会話	2/0		
食物	2/0		

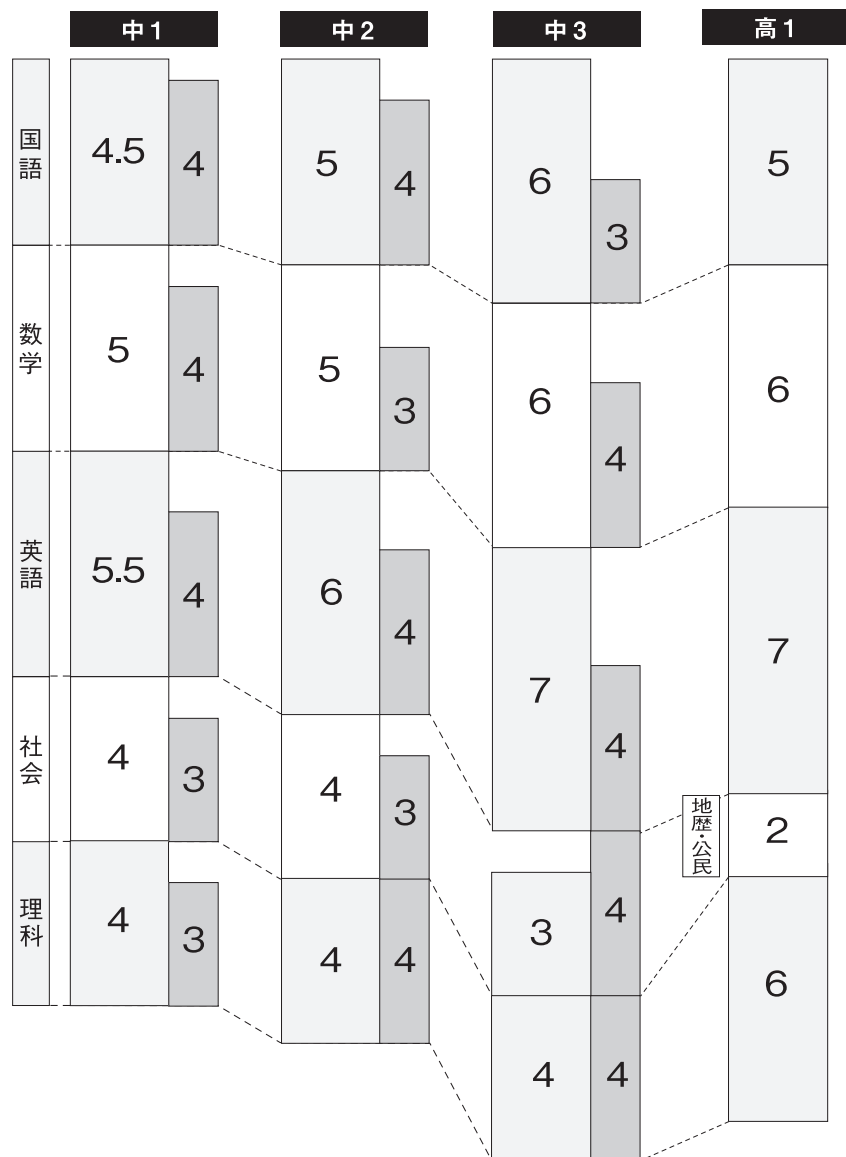
【主要教科の時間配分】

週6日・二期制により、各教科の時間数を十分に確保しながら、主要5教科、特に国、数、英の3教科で標準（公立）を大幅に上回る授業時間数の配分を実現しています。

標準との差は、中学3年間の3教科総計で500時間以上。授業時間数の比率で約1.5倍となっています。



●本校主要教科の授業時間数と標準（公立）との比較



は標準時間数
(現行の学習指導要領)

【5教科の進度】

中高完全一貫化により6年間を合理的に再編成したカリキュラムを導入しているため、受験対応の演習に十分な時間を残すだけの進度を実現しています。

ただし、あくまで深く丁寧な授業を心がけ、苦手な生徒に対するフォローも充実させています。こうして培われた幅広く重厚な学力の土台が、高い学力を生み出すことにつながっています。



数学				
項目	正負の数 文字と式 方程式 比例と反比例 平面図形 空間図形 式の計算 連立方程式 一次関数 図形と合同 三角形と四角形 確率(統計を含む)	データの活用	多項式 平方根 二次方程式 関数 図形と相似 円 三平方の定理	データの分析 数学と人間の活動 場合の数と確率 集合と命題 複素数と方程式 式と証明 図形と計量 二次関数 数と式
標準学年	中1	中2	中3	高1・高2
本校	中1	中2	中3	中3

◎中1、2で中学校の内容を終了し、中3では高1の範囲(数学Ⅰ、A)を指導します。
◎高1で高2の内容(数学Ⅱ、B)を終了した後、高2からは文系、理系に分かれたコース別の展開となります。
◎教材は検定教科書の他に、副教科書として『体系数学』(数研出版)も使用しています。

英語					
項目	代名詞 be動詞 一般動詞 疑問詞 助動詞 進行形 過去形 未來表現 比較 不定詞 接続詞 助動詞 文型 現在完了 動名詞 不定代名詞 受動態 現在完了進行形 分詞 關係代名詞 間接疑問文・付加疑問文 名詞節 不定詞(發展) 仮定法 過去完了 使役動詞・知覚動詞	強調・否定・倒置 分詞構文 感嘆文 比較(發展) 關係副詞 關係代名詞(What、發展) 副詞節(接続詞) 助動詞(發展)	不定詞(發展)	不定詞(發展)	不定詞(發展)
標準学年	中 1		中 2		中 3
本 校	中 1		中 2		中 3
					高1～

◎中1～高3までの内容は高2までに指導し、高3からは生徒の進路に合わせた演習授業を展開しています。
◎教材は検定教科書の他に、『NEW TREASURE English Series』(Z会出版)も使用しています。

「国語表現」とは

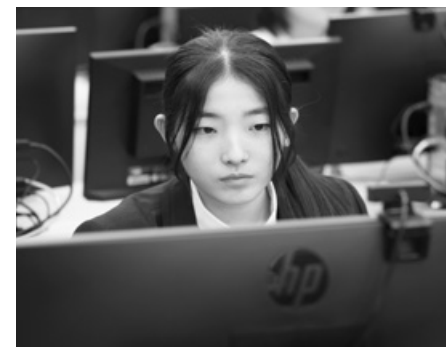
増加傾向が続く総合選抜型入試(旧AO入試)や学校選抜型入試(旧指定校推薦入試)においては、小論文やプレゼンテーションなど様々な形で日本語での表現力が重視されるようになっていきます。また、どんな社会においてもコミュニケーションをスムーズにするために表現力は欠かせません。

そこで本校では、中学3年間、毎週1時間「国語表現」の授業を少人数制で設定しています。国語4技能のうち特に「書く力」「話す力」をより高めるため、論述、プレゼンテーション、討論、そして俳句・短歌などの創作もこの時間内で実施し、表現力を高めることはもちろん、豊かな感性を育み、他者に伝える楽しさを体感して欲しいと願っています。

なお、高校3年次では、「国語表現演習」「国語総合演習」で、より高度な課題に取り組みます。

「ICT教育」について

本校では全ての生徒がiPad(Wi-Fiモデル)を所持しており、学校や家庭学習などに活用しています。学校で一括してフィルタリング設定やアプリの管理をしているため、安全・安心して学習のためだけに利用することができ、自宅のWi-Fiにも接続することができます。また校内には無線LANの設備が整えられているので、学校に入ったらすぐにネットワークにつながります。授業内での調べ物はもちろんのこと、学習用SNSに配信されるプリントや課題、また自宅では動画授業の閲覧など、日常的に学習の補助に使われています。コロナ禍の休校中には、それらに加えてWeb会議システムを使っの朝礼なども頻繁に行われました。次第に生徒が自発的に活用するようになっており、全教室内につながる電子黒板、たとえば部活動では演技の振り付けを撮影して、振り返りをするなどにも使われています。また校内にあるICTサポートセンターではiPadのトラブルに対応するための専門スタッフが常駐しています。



表現力豊かで、 論理的思考のできる 女性へと導きます

2018年度から中学で週1時間、独自の「国語表現」を設置しています。クラス2分割の少人数制で、ICTも交えつつ、論述・創作・発表・討論などに取り組み、記述・口述双方の表現力の育成を図ります。これは、刻々と変化する大学入試への対策にもつながります。例えば、原稿用紙、罫線や方眼ページのある『表現ノート』とiPadを併用し、手紙、企画書、パンフレット、新聞、絵本、紀行文、作文、韻文、ドラマ、プレゼンテーション、ディベート等（年度ごと内容は異なります）、多様な表現活動を展開しています。

夏休みには課題図書を全員が読み、校内読書感想文コンクールを行っています。優秀作品は表彰され、作文集『ともだち』に掲載されます。また、著者をお招きした講演会も開催しています。

プレゼンテーション能力向上のための取り組みとしては主に中学のブックトーク、高等学校のビブリオバトルがあります。その他、高等学校では小論文の実践的な指導が行われ、大学入試にも対応できる高い表現力を目指します。

語彙の習得のための漢字テストは、年間実施回数を10回に増やし、よりきめ細やかな指導を行います。また、漢字検定の校内準会場受験の機会を年2回設けており、高校卒業までに準2級の合格を目標にします。また、文法は中学1年からオリジナルテキスト『口語のき



まり』によって口語のしくみを徹底して学び、古典文法の学習に備えます。

古典においては中学1年からオリジナルテキスト『古典』によって、古文・漢文を学習します。仮名遣いや辞書の引き方から始め、連句ゲームや辞書を使った遊び、百人一首大会などを含め、楽しみながら古典の導入を行います。

中学3年からは現代文と古典に分かれて授業が行われます。古典では高校レベルの教材も扱いながら、テーマ毎に読解力を高めめます。現代文では重要キーワード集なども併用し、抽象的文章への対応力を養います。

このように、生徒の能力に合わせて基礎力養成の徹底を図り、その後の応用力育成に、より多くの時間をかけられるようにしています。そして、高校2年終了時までに、近代日本の問題や自己存在に関わる問題から現代社会までのテーマを評論・小説両面から学びながら、高校課程の修了と同等の学力をつけ、高校3年では演習を多く取り入れ、論理的思考力や文章理解力を一層高めることによって、大学受験はもとより社会生活や大学の専門教育にも充分に対応できる国語力を養います。

学年	基礎学力養成期		基礎力充実・応用力発展期		問題発見・解決能力養成期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	日本語を適切に表現し正確に理解する能力を高める。		現代の文章及び古典の文章を通し、日本語を的確に理解する。		古今の文章を読み味わい、日本語そのもの、またそれを使う我々自身について考える態度を育てる。	
内容及び方法	現代国語 現代文	○自習教材（ワークブック）によって予習・復習を確実にさせる。 ○口語文法を中学1年終了までに習得。 ○文章の基礎的な読解の方法習得。	○問題演習を行い、論理的な読解力を養う。 ○様々なジャンルの文章に触れ、表現の多様性・可能性について考えさせる。 ○著名な作品に親しみ、文学史的視点を持たせる。		○概念語や現代用語の知識を拡充させ、現代の状況を考察させる。 ○近・現代文学の提示する問題を考えさせる。 ○各分野の評論を通し現代社会の問題への分析力・考察力を高める。	
	古典	○中学1年からオリジナルテキスト『古典』によって、古典の基礎を学習する。	○自主制作教材を使用し、古典文学を読み解く力を養う。 ○高校1年終了時に助動詞まで完全習得（古文）。 ○訓読のルールから句法の知識の拡充（漢文）。 ○副教材を使い、古典の世界や古語、漢文の句法の知識を培う。 ○高1から習熟度別授業		○自主制作の学習プリントを使用し、高校2年終了までに文語文法を習得。 ○古典作品から、伝統的な美意識・価値観について考えさせる。 ○問題演習形式で既習の知識を再確認し、古典作品や現代文を読む力・鑑賞する力を育成する。 ○少人数習熟度別授業	
	読書表現	○『表現ノート』による推薦図書読書・原稿用紙の使い方指導。多様な表現方法の習得。 ○朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○読書感想文コンクールにおける課題図書読書・表現指導。 ○作文添削指導。外部作文コンクール参加の奨励。 ○優秀作文集『ともだち』発行。 ○ブックトークによるプレゼンテーション能力の向上。 ○課題図書作家講演会	○修学旅行の紀行文指導。 ○『表現ノート』や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○読書・LHRでの討議と関連させつつの表現指導。 ○優秀作品の生徒会機関誌等への掲載。 ○ブックトーク、ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。		○読書記録や朝の「読書タイム」による読書の奨励。 ○ビブリオバトルによるプレゼンテーション能力の向上。 ○優秀作品の生徒会機関誌への掲載。 ○要約作業からスタートしての表現・小論文指導。 ○自己分析からの自己PR、志望理由書作成。	
	漢字語彙	○漢検4級合格を目指す。 ○常用漢字1600字程度。 ○漢字テスト年10回実施。		○漢検3級、準2級合格を目指す。 ○全ての常用漢字・人名漢字。		○3000字以上の漢字・動植物名・外国名。 ○評論・小説語彙の定着を目指す。
書写	○文字を正しく書く能力を身につけさせるとともに 書写力を生活に役立てる態度を育てる。 ○俳句を書きながら、芸術的な仮名の要素をとり入れ、高校芸術「書道」への移行を行う。					

自らの力で問題解決に 取り組むための 基礎力育成を目指します

本校の数学科では、中高6年間を三段階に分け、生徒の発達段階に応じた指導をしています。中学1・2年は中高一貫教育に適した教材である『体系数学』（数研出版）を中心に用い、授業を展開します。

中学1年の段階では、高校数学を視野に入れながらも、数学に対する興味・関心を高めるために、より身近な事象を題材とした授業を実践していくように心がけています。中学1・2年生は5時間の授業を「代数（計算）」、「幾何（図形）」に分け、生徒個々の学力に応じて、ホームルールの2クラスを3段階に分けた少人数・習熟度別授業を実施します。将来の進路も視野に入れ、その土台となる基礎学力を重視しながら、中学2年までに中学3年分の内容を学習し終えます。また、発展的な内容を取り扱ったり、知的好奇心を高めたりするための補講や、基礎事項を定着させるための補習も行っています。

中学3年からは高校の内容に入ります。中学3年、高校1年の段階では、大学受験を考慮した進路に意識を向け、それに見合うだけの実力をつけるための基礎固めを行います。

高校2年からは、文系・理系のコースに分かれます。国公立文系コースでは入試問題を踏まえた問題演習の授業を行います。理系コースでは数学Ⅲまたは、数学ⅠAⅡBの問題演習を行い、高校2年生までに中高6年間の全ての内容を学習し終えます。高校3年では、文



系・理系のそれぞれの進路に合わせた徹底的な入試問題演習を行い、大学入試に十分に備えていきます。

本校の数学科では、予備校・塾に依存することなく、進学校としても成果を出せる教科教育を実践し、自らの力で問題解決に取り組むことのできる力の育成を目指していきます。

学年	数学への興味・関心を高め、考察態度を培う段階		数学への探求心を培い、考察態度を育む段階		数学をより深く発展的に考察する態度を高める段階	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	日常の事象から数学を発見する活動を通して数学のよさを感じ、数学の有用性を認識するとともに日常の問題の解決に数学を活用する態度を培う。		数学を一般化することから数学の有用性を感じ、数学の見方や考え方をを通して、様々な問題を数学的に考察するとともに、これを的確に活用する態度を育む。		より高度な内容を学習し、数学を一般化することの意義を見いだすとともに、これを発展的な様々な問題に適用する態度を養う。	
内容 及び 方法	●中学数学1年 ・正の数と負の数 ・文字と式 ・1次方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 ・空間図形 ・不等式(高校) ●中学数学2年 ・式の計算 ・連立方程式 ・1次関数 ・図形と合同 ・三角形と四角形 ○少人数習熟度別授業(代数)	●中学数学2年 ・確率 ●中学数学3年 ・多項式 ・平方根 ・図形と相似 ・線分の比と計量 ・2次方程式 ・関数 ・三平方の定理 ・円(高校) ○少人数習熟度別授業(代数・幾何)	●高校数学1年 ・数と式 ・複素数と方程式 ・2次関数とグラフ ・式と証明 ・集合と論理 ・確率 ・図形と計量 ・データの分析 ○少人数習熟度別授業	●高校数学2年 ・図形と方程式 ・三角関数 ・いろいろな式 ・平面上のベクトル ・空間のベクトル ・数列 ・微分法 ・積分法 ・統計的な推測 ○少人数習熟度別授業	●高校数学3年 ・極限 ・微分法 ・微分法の実用 ・積分法 ・積分法の実用 ・平面上の曲線 ・複素数平面 ○コース別少人数習熟度別授業	・数学ⅠAⅡB演習 ・数学Ⅲ演習 ○コース別少人数習熟度別授業
	○小学校との関連に目を向け算数教育の現状を踏まえ、現実的な事象を数学的に捉えさせる。 ○生徒の思考を重視した問題解決型の授業展開を目指し、数学への興味・関心を高める。		○論理的な考え方や関数的な見方を通して、現実的な事象をモデル化、単純化、抽象化し、様々な問題を、数学を使って解決できるよさを感じさせる。		○これまでに培われた数学的要素を発展させ、一般化することの意義を理解させる。 ○高等教育に対応できる能力を育てる。 ○中等教育の最終段階として、大学受験にも対応できる知識・技能などを確実なものにする。	
	○数学的な活動を重視し、具体から抽象へと、徐々に数学的な概念を発展させていく。 ○日常の授業において、できるだけ生徒の身近な事象を題材として、生徒の興味・関心を高める。 ○単なる知識の伝達や技能の習得だけではなく、問題解決型の授業形態を心がけている。 ○問題の解決過程において、「数学化」や「検証」も大切にし、数学が日常生活の解決に役立つことを生徒に意識させる。 ○教科書の内容を深めたり、発展的に考察する態度を高め、高等教育にも対応できるようにする。 ○希望生徒には放課後に、生徒の習熟度に応じたハイレベルな補講や授業の補習などの個別指導を行う。 ○中学1年次から習熟度別授業を行い、高校3年次初期まで教科書すべてを終了する。 ○高校3年次は、大学受験の様々な科目パターンに対応するために、コースに対応して多種の演習授業を行う。内容は入試問題演習を中心とする授業を行い、実践力を養う。					

多様なプログラムで バランスのとれた英語力を 育成します

本校の英語科では中高6年間で前期・中期・後期と3つに分け、生徒の発達段階に応じた指導目標を掲げています。

前期では視聴覚教材を多用した「音声による導入」、英語を実際に使う場面を想定した「言語活動」などを通して「聞く」「話す」という音声を重視した発信型の英語の基礎力を身につけさせます。中学1年・2年次では発信する機会を増やし、よりきめ細かい指導を実現するために「少人数制指導」を実施していますが、1年次途中からはさらに習熟度を加味して授業を行います。

中期では生徒の論理的な思考の発達にあわせ、サイドリーダーによる「長文精読」や英文法の体系化を図る「高校内容先取り学習」を行い、読解力や作文力、つまり「読む」「書く」という技能を育成します。また、「少人数制習熟度別授業編成」により効果的な学習事項の定着を図っています。

後期では前期・中期で育んだ英語力を総合的に伸ばします。大学入試問題演習を中心に生徒の進路を見据えた発展的な指導を行います。クラスは「少人数制習熟度別授業編成」とし、読解は精読・速読・多読の指導を徹底し、希望者には外部業者による「英作文添削講座」および外国人講師や日本人英語教員による「英作文添削指導」を実施しています。文法は入試問題を通して実践的な実力を身につけさせています。いずれ



も難関大学に合格できるだけの学力が身につくように指導しています。

中学1年次から外国人講師による「英会話」の授業が少人数制で実施され、スピーチやグループ発表などの表現活動を実践しています。また全員が授業とは別に、自宅で海外の外国人講師と1対1で会話する「オンライン英会話」に取り組み、さらに希望者はイングリッシュシャワー（外国人講師による自己表現訓練講座）にも参加できます。

「Language Square」では、放課後、外国人講師が常駐し、生徒の質問に答えたり、独自のレクチャーを行うこともあります。

また、生徒の発達段階に応じた指導の工夫とともに、「英単語テスト」「TOKYO GLOBAL GATEWAY研修」「長期休暇海外研修」「ターム留学」など多様なプログラムで生徒の総合的な英語力を伸ばします。

このように、社会で役に立つ英語力と異文化理解の態度・姿勢が身につくよう、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能をバランスよく育成することを念頭において指導しています。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○外国語を学ぶ楽しさを体験させる。 ○「聞く」「話す」ということに重点を置く。		○英語力を総合的に高め、大学入試に向けてスムーズに対応できるように指導する。		○多彩な演習授業により、大学入試に十分対応できる実力を身につけさせる。	
授業形態	少人数制授業 (年度途中より習熟度を加味)		一斉授業			
			少人数制習熟度別編成授業			
語彙指導	英単語テスト					
	1000語	2000語	3000語	4000語	5000語	
文法指導	中学履修範囲修了			入試基礎事項をすべて学習		入試英文法演習
	NEW TREASUREによる指導		NEW TREASUREなどによる指導			
読解指導	NEW TREASUREによる指導					入試長文演習
	サイドリーダー(基本)による指導		サイドリーダー(応用)による指導			
自己表現活動	海外の外国人講師による少人数制英会話 (家庭学習として「オンライン英会話」によるレッスン)			外国人講師による少人数制英会話		
	自己紹介・身のまわりの人の紹介	スキット・スピーチ・Show&Tellなど		ディベート・ディスカッション		
資格試験及び特別活動	英検4～3級	英検3～準2級	英検準2～2級		英検準1級(TOEFL・TEAP等対策)	
		GTEC for students				
		イングリッシュシャワー(基本)	イングリッシュシャワー(応用)	TOKYO GLOBAL GATEWAY研修		
				ショートターム留学派遣(2ヶ月) ロングターム留学派遣(10ヶ月)		
				交換留学受入		

社会や歴史への深い理解を オリジナル教材で 育んでいます

中学3年間に於いて、世界や日本の地理・歴史・公民の事象にできるだけ多く接し、公民的資質を養うとともに、社会科の基礎力定着を図ります。中学の段階ではオリジナル教材の「サブノート」も扱い、高校での範囲や項目の一部を取り込んで、学習内容の充実を図っています。また、高校1年では歴史総合、高校2年では地理総合・公共を全員が学ぶことで日常生活の中での情報を的確に判断・選択できる能力を育むとともに持続可能な社会に向けて考えることを目標としています。

高校2年からはコース制に対応して、大学受験を意識した科目の履修が始まります。受験科目としては世界史・日本史が中心となりますが、多様化する受験パターンに対応できるよう世界史・日本史・地理・政経・倫理などが選択科目として設置されます。文系コースの場合、世界史探究・日本史探究に加え、「論述演習」を設置することで、国公立大学はもちろん、難関私立大学の論述問題にも対応できる力を養います。国公立大学文系学部の地歴・公民の2科目受験、また理系では大学入学共通テストにも充分に対応できるカリキュラムとなっています。



学年	前期		中期		後期	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標	社会科			地歴公民科		
	【地理分野】 ○地図や資料を活用し、世界各国と日本人の生活を理解させる。 ○環境や資源の重要性を考えるとともに、世界各国の社会的変化にも着目させる。			○「ニュース報告」を通して時事問題を含めた社会事象を考察する態度を育てる。 ○政治・経済の基本を学び公民的資質を身につける。	○歴史をテーマにして思考力・表現力を養う。	○地理や現代社会をテーマにして、思考力・表現力を養う。
	【歴史分野】 ○様々な出来事や人物、時代の前後関係などを明らかにして、今日の社会がつくられてきた過程を理解させる。					○大学受験に向けた専門的な知識・思考力を身につける。 ○各「演習」は実践的な受験対策。
内容	●地理分野 (2) 〔わたしたちの地球〕 〔世界の国々〕 〔世界と日本の結びつき〕	●地理分野 (2) 〔日本の国土〕 〔日本の産業〕 〔日本の諸地域〕	●公民分野 (3) 〔人権の尊重〕 〔日本国憲法の原則〕 〔基本的人権の尊重〕 〔民主主義の政治〕 〔くらしと経済〕 〔世界平和の実現〕 〔地球時代〕	●歴史総合 (2) 〔近代化と私たち〕 〔国際秩序の変化や大衆化と私たち〕 〔グローバル化と私たち〕	●地理総合 (2) ●公共 (2) ●世界史探究 (5) ●日本史探究 (5)	●世界史応用探究 (4) ●日本史応用探究 (4) ●地理探究 (3) ●倫理 (2) ●政治経済 (2) ●各「演習」(2) 世界史論述 日本史論述 地理 倫理 政経

科学的な思考法を学び
客観的・定量的な見方を
育てます

本校の理科では、「中高6年間を通じて柔軟な科学的思考力を育て、自ら問題を解決する力を身につける」ことを目標に指導を行っています。また、生徒の発達段階に合わせたカリキュラムに基づき授業を展開しています。

中学1・2年の2年間は、基礎学力を充実させる期間です。中学校レベルの内容全般について知識を整理し、実験や観察を多く取り入れながら、科学的な考え方の基礎を身につけます。各学年で理科1(物理・化学分野)、理科2(生物・地学分野)に分けて授業を展開します。

中学3年・高校1年の2年間は、高校理科の物理・化学・生物・地学各科目の基礎を習得する期間です。また、多様な進路選択に適應できるよう、実験とその考察を通して科学的な思考力を身につけさせ、基礎学力を完成させます。

高校2・3年の2年間は、大学受験に向けて応用力を身につける期間です。多様化し、変動する入試に対応できるように、科目選択に幅を持たせ、様々な実験や問題演習を多く取り入れた授業を展開しています。



学年	STEP1（基礎学力定着期）		STEP2（基礎学力完成期）		STEP3（応用力完成期）	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標・方法	中学理科の教科書内容を習得させ、基礎的内容を定着させる。		高校理科の基礎を習得させ、多様な進路選択に対応できる力をつけさせる。		科目の選択に幅を持たせ、問題演習を多く取り入れ、大学受験に対応する力を完成させる。	
	○実験・観察と日常の授業から、教科書と日常生活における身近な事象とを結び付けることで、科学への興味・関心を高める。		○実験・観察を通して、具体的な内容から自然の原理を理解させ、科学的な概念の定着をはかる。		物理 実験・演習を通じて理解を深め、自然現象を物理法則を使って説明できるようにする。	化学 これまで学んできた化学を自然や身の回りの事象へと広げて系統的に学習させる。
	○問題集などを利用して基礎的な計算や思考ができるような授業を行い、生徒の基礎力の充実をはかる。		○単元内容の理解度をより深めるため、中学3年次より高等学校の内容を取り入れ、発展的な学習指導を行う。		生物 生命現象を分子レベルでとらえ、生命の不思議さに関心を持つように指導する。生物と環境との関わりを理解させる。	
内容	物理分野	光・音 いろいろな力 静電気と電流	電流とその利用 物体のいろいろな運動 力の規則性	2 力のつりあい 力の合成と分解 運動の法則 エネルギーと仕事 物体の運動（直線運動）	物体の運動（放物運動） 運動の法則 波の性質 熱量保存の法則	光波と干渉 ドップラー効果 運動量保存の法則 円運動 電流と磁場 交流回路
	化学分野	身のまわりの物質 （物質と温度／気体・水溶液の性質）	物質のなり立ち 原子構造とイオン 物質どうしの化学変化 化学変化と物質の質量 化学変化とその利用	酸、アルカリとイオン 化学変化と電池 科学技術と人間	物質の構成 （原子の構造、化学結合） 物質の変化 （物質質量、酸・塩基、酸化・還元）	化学結合 気体 溶液 反応速度 平衡 有機化学
	生物分野	植物の特徴と分類 動物の特徴と分類	生物のからだのつくり・はたらき	生物の成長と生殖 遺伝の規則性と遺伝子	生物の特徴 遺伝子とのはたらき ヒトの体内環境の維持 生物の多様性と生態系	生物の進化 生命現象と物質 生殖と発生 生物の環境応答
	地学分野	地表・地球内部のつくりと その変化	天気とその変化	地球と宇宙 自然と人間		

理論を理解し
音楽を楽しむことによって
感性を磨きます

まず中学校の3年間で全員が総合的な音楽の基礎をしっかり学びます。その後選択制となる高校で、中学校で得た知識をもとに、より深い理解と感受性豊かな表現を目指した指導をします。

中学校では、歌唱・器楽・鑑賞・理論の4分野を満遍なく学べるようにカリキュラムを組んでいます。歌唱では独唱や重唱、合唱を通して、正しい発声・発音で歌うことだけでなく、曲や歌詞の内容も理解できるよう指導しています。器楽ではアルトリコーダーを取り入れ、主に二重奏で世界の名曲を多数練習することにより、読譜力・表現力を身につけていきます。鑑賞では、教科書の鑑賞曲だけでなく、バロック・古典派・ロマン派・近現代における大作曲家の作品に触れます。理論では、全員が楽譜を読めるようになることを目標に、楽譜の書き方・音の名前・音階・音程・和音・音楽用語などの基礎理論を1・2年生で学んでいきます。学校行事として中学校卒業間近に行われる合唱コンクールでは、生徒たちがそれまでに身につけたすべてを注いで、課題曲・自由曲を歌い、8クラスが優勝を目指します。また、視聴覚教育の一環として、三年に一度の音楽鑑賞会があります。

高校では、歌唱・鑑賞を中心に、楽曲の把握と創造に重点をおいた指導をしています。歌唱では、幅広い分野の世界の名曲に原



語で挑戦します。鑑賞では、ひとつの作品ごとに音楽史や様式に触れ、生徒たちにはその作品の背景や感想などについてレポートすることが求められます。

中学生ではウクレレの実習を行い、楽器のしくみやコードネームも学びました。

学年	前期		中期		後期	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
目標	○正しい楽譜の書き方を身につける。 ○基礎的な表現の技能を伸ばす。 ○音楽に興味、関心をもつ。	○楽曲のしくみを理解する。 ○楽曲の特徴をつかむ。 ○幅広い鑑賞の能力を高める。 ○音楽理論を総合的に理解する。	○合唱のよさを味わう。 ○音楽に対する総合的な理解を深め、表現の技能を伸ばし、創造的な表現の能力を高める。	○発声の基本を学び工夫する。 ○世界の音楽に親しみ、歴史の流れをつかむ。	○声域の拡張と表現の工夫をする。 ○芸術歌曲を理解する。 ○音楽様式と変遷を鑑賞を通して学ぶ。	○曲想に応じた発声を工夫する。 ○文化的背景と音楽を関連させて理解する。
内容及び方法	歌唱 器楽 鑑賞	○正しい呼吸法、正しい発声を身につけ、ことばを大切に、きれいな発声で歌う。 ○移動f唱法による階名唱を十分行うことで、音程とリズムを正確に歌えるようにする。 ○合唱で、ハーモニーの美しさを味わい、協力して音楽を作り上げていくよさを感じとる。		中学3年間では総合的に学習したが、選択となる高校では、歌唱・鑑賞を中心に、楽曲の把握と創造に重点をおいた指導をする。		
		○4つの奏法（ノンレガート・レガート・スタッカート・ポルタート）を学ぶことで、楽譜の読み方の徹底と、曲にふさわしい表現を工夫する力を育てる。 ○重奏で、メロディーの重なるの楽しさ、ハーモニーの美しさを感じとる。		【歌唱】 ○古典歌曲からミュージカルまで、世界各国の楽曲について、年代・作詞者・作曲家・音楽形式などを理解して歌う。 ○原語による歌唱も含め、個性溢れる豊かな表現の工夫をする。		
		○音楽史に簡単に触れ、楽曲の形式・楽器や声の組み合わせによる響きを理解して聴く。 ○他教科(地理・歴史・美術など)と関連させた総合学習に発展させる。		【鑑賞】 ○音楽史にそって、演奏形態・楽曲の種類だけでなく、楽曲形式まで踏み込んで、曲を理解して聴く。 ○ミュージカルや映画音楽、総合舞台芸術としてオペラ・バレエを取り上げる。 ○各分野の世界的演奏家に親しむ。		
	楽典	○正しい楽譜の書き方・読み方を徹底させる。 ○3年間で楽典の基礎を学ぶ(音名・階名・音階・和音・移調など)。 ○理論に偏らず、実技や鑑賞との関わりの中で、理解できるようにする。				

創る楽しさ 鑑賞する楽しさを通して 自己を発見します

共立の美術では「古典・現代・美術史」を軸とした6年間を通して育む美術観を目標に、中学・高校それぞれの生徒の成長段階に合わせて内容をきめ細かく組み立てています。その特徴として油絵の古典的技法とICTによる演習といった伝統的技法と現代の表現を統合的に扱っている点が挙げられます。

中学では1年生から本格的な油絵道具や画材を使用して基本的なデッサン力を身につけ、その基本は2年生・3年生のICTを使った課題にも十分に活用されながら、デザインやアニメーションの制作に取り組み、構成・色彩効果・編集について学びます。

また実技と共に、3年間を通して様々な表現の背景や美術史の流れを概観することを狙いとし、課題ごとに関連する本校独自の資料を豊富に提示したり、近隣の美術館での鑑賞時間を設けたりなど、生徒の意欲を引き出す仕掛けを多く用意していることも特徴の一つとしています。

高校では選択制となり、課題も更に専門的で高次な内容に発展していく一方、彫刻などの立体や漫画表現といった新たな領域も加わり、また美術系進路に対応した科目や講座も設けられています。



中高とも美術の幅広い領域からできるだけ多くの表現方法や価値観に触れ、上手・下手の観点で捉えず、自己の探究を目指す創作の過程を重視しており、そのため絞られた課題数で生徒がじっくり取り組めるよう、ゆとりある制作時間の確保を心がけています。そして何より校舎のあらゆるところに芸術家の作品が展示され、日々、目に触れることができる環境の中で自ずと豊かな心と、自らの人生に美しさを希求する姿勢が育まれことを願っています。

学年	STEP1 (基礎・前期)		STEP2 (錬成・中期)		STEP3 (完成・後期)	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標	○幅広い表現及び鑑賞の講義・実技(技法)指導を重ねることで、造形能力を高めるとともに、知性と感性の統合を図り、美術に対する広い視野での見識・能動的な姿勢がもてる豊かな情操を養う。			○観察・想定などを行い、自然物・人工物に対する関心や探求心を高め、創造する能力と態度を育てるとともに、基本的な美術史を理解させ、幅広い芸術観を育成する。		
内容及び方法	前 期	○「静物デッサン」(鉛筆) ○油絵画の概説 (顔料と溶き画、基底材) ○絵画古典技法演習: 「静物画」(油彩・F6) ○鑑賞: 「静物に見る西洋美術史」	○絵画混合技法演習: 「自画像」(油彩・F6) ○鑑賞: 「自画像に見る西洋美術史」	○CG 演習: 「10 秒アニメーション」 ○鑑賞: 「様々なアニメーション表現」	○石膏首像グリザイユ (油彩・P10号キャンバス) ○自画像デッサン(鉛筆) ○鑑賞: 「石膏像に見る西洋美術史」	○CG演習: 「私のすまい」 ○CG演習: 「抽象的ドローイング」 ○「石膏デッサン」 (木炭・木炭紙大)
	後 期	○自画像デッサン(鉛筆) ○鑑賞:美術館見学 (東京国立近代美術館)	○CG演習: 「コラージュ技法による 空想画」 ○CG演習: 「CDジャケットのデザイン」	○細密デッサン(鉛筆) ○絵画古典技法演習: 「細密画」(油彩・サム ホールキャンバス)	○絵画古典技法演習: 「バロック風自画像」 (油彩・P10号キャンバス) ○CG 演習: 「漫画・劇画表現」 ○鑑賞: 美術館見学(東京国立 近代美術館)	○絵画混合技法演習: 「抽象絵画」(油彩他・ M20 号キャンバス) ○鑑賞:美術館見学 (東京国立近代美術館) ○鑑賞: プレゼンテーション(私の 作品について)

多様な種目を通して 生涯スポーツの基礎を 身につけます

本校では、バレーボールとダンスを中高一貫の教材として扱っています。

バレーボールは、中学1年生でボールに慣れ親しむことから始め、3年生になるまでにパスやサーブの基本動作を身につけ、簡易ルールでゲームができることを目標としています。3年生は6人制のルールでゲームをしながら、個々の役割を理解し、互いに協力して楽しむことをねらいとしています。高校では中学で身につけた技術に加え、攻撃の技術の習得を目指します。また特別ルールを用いてゲームを行い、戦術をもってゲームに臨む楽しさを学びます。ゲームの審判は生徒同士で行い、公平かつ安全に運動に取り組むことを目標としています。ゲームの審判は生徒同士で行い、公平かつ安全に運動を楽しむことを目標としています。

ダンスは、中学1年生で時間をかけ、ダンスの基本的な動きや創り方を学びます。中学2年生から高校1年生までは、学年に応じた題材を選び、テーマに合った動きを見つけ、作品として完成させること目標とします。とくに高校1年では、各クラス優秀作品を集めた発表会を共立講堂で行っています。高校2年生は、中学1年から高校1年までの基本技能をもとに、体育祭で発表するダンスを作り上げ、躍動的な集団演技を展開します。3年生では、6年間で学んだ技能を生



かし、更に技術的に難易度の高いダンス「荒城の月」を学び、作品性を理解して表現し、集団演技として美しく幻想的なダンスに仕上げることを目標としています。

中学ではバスケットボール、フットサル、剣道、マット運動など、高校ではソフトボール、バドミントン、卓球、ハンドボール、テニス、剣道なども授業の中に取り入れています。また体育祭などの体育行事にも力を入れています。中高共に生徒が幅広く運動に親しみ、体力を高め、生涯スポーツの基礎を身につけさせることを目指しています。

保健では、日常生活と関連させて心身の発達や環境問題・疾病の現状・健康と生活について学び、生涯にわたって健康を意識して生活できる力を育てることに重点を置いています。

学年	前期		中期		後期	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標	体 育	○基本的な体の使い方を学び、様々な運動に対応できる基礎体力と協調性を養う。	○基礎技術を向上させ、協調性を持って運動することの楽しさを体感する。	○実戦に必要な技術を習得し、チームプレーについて学ぶ。主体的な活動を通して自己表現力を高める。	○専門的な技術と戦術理解を深める。創造力を発揮し、集団における自己表現の方法について学ぶ。	○専門的な技術と戦術理解をより深める。 ○作品の発表を通してより高度な表現力を身につけ、集団で運動することの楽しさを学ぶ。
	保 健	○健康とは何かを理解し、健康と生活の関連性について学ぶ。 ○心身の発達が心や体に与える影響について理解を深める。	○生活習慣の健康への影響と健康的な行動選択について学ぶ。 ○交通事故や災害、犯罪から身を守る方法について理解を深める。	○感染症の特徴と、予防するための対策について理解を深め、環境が健康におよぼす影響を学び、健康と環境に関する課題について考える。	○健康課題とそれらへの対策、健康を支える社会づくりなどについて学ぶ。 ○事故や怪我が起きた場合の対処法について理論と実習の両面から学び、実践する態度を養う。	○生涯にわたって健康に生きていくための意思決定・行動選択、社会環境づくりの大切さについて理解を深める。
科目 (は時間数)	体 育 (2.5)	体 育 (2.5)	体 育 (2.5)	体 育 (2)	体 育 (2)	体 育 (3)
	保 健 (0.5)	保 健 (0.5)	保 健 (0.5)	保 健 (1)	保 健 (1)	
内 容 (◎中高貫種目)	体 育	◎バレーボール ◎ダンス ○ラジオ体操 ○バスケットボール ○フットサル ○マット運動 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○バスケットボール ○フットサル ○マット運動 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○バスケットボール ○剣道 ○マット運動 ○新体操 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○ソフトボール ○剣道 ○新体操 ○体育祭種目練習	◎バレーボール ◎ダンス ○ハンドボール ○バスケットボール ○新体操 ○ボール運動 ○体育祭種目練習
	保 健	○調和のとれた生活 ○心身の発達と心の健康	○生活習慣の健康への影響 ○けがの防止と応急手当	○感染症の予防と健康を守る社会の取り組み ○環境の健康への影響	○現代社会と健康 ○安全な社会生活	○生涯を通じる健康 ○健康を支える環境づくり

身近な生活の中での工夫する力・創造する力を培っていきます

技術・家庭分野の授業の意義と内容は、共立女子学園の歴史に深く関係しています。時代の進展に貢献する女性の育成を目的として教育活動を行っており、本教科では、実習するなかで自ら発信し行動する姿勢、自主性を尊重して進めています。

中学校では、私立女子校であるという特性を生かして、家庭分野に厚みを持たせた内容にしています。食物分野では栄養と健康の関連性を理解した後に、中学生が日常生活で実践可能な取り組みやすい内容の調理実習を行います。被服分野では被服の働きや生活上での身体の動きを理解した上で、スモック・ルームウェアなどの被服実習を行い、実生活と関連づけて理解を深めています。これらの実習を通して、身近な生活の中で工夫・創造する喜びや達成感・責任感を持ち、問題解決にあたる力を培っています。また、技術分野として、プログラミング的思考やプログラミングの基礎・基本操作を学ぶ講座を実施しています。

高校では、将来、家庭生活を主体的に管理・経営できるように、課題意識を持ち自ら解決していく力を身につけることを目標としています。中学での学習内容をさらに発展させ、より専門的な食物、被服、保育分野を扱い、実習や実践を多く取り入れた授業展開としています。食物では、和・洋・中の調理実習を中心として調理学や栄養学を



学び、被服では、浴衣などの製作から被服の構成を学んでいます。共同作業や作品の完成を通して、豊かな人間関係を築き、生徒自身が自己発見をしながら、自立した女性へと成長していけるような指導を心がけています。

学年	前期		中期		後期	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標	○生活に必要な技術を知得させ、生活と技術の関係を理解し、工夫創造する能力と実践的な態度を育てる。			○中学での学習内容をさらに発展させ、より専門的な食物、被服、保育分野を扱い、実習や実践を多く取り入れ学習する。 ○将来、家庭生活を主体的に管理・運営できるように、課題意識を持ち、自ら解決していく力を身につけることを目標とする。		
内容	○被服の働き ○衣服の構成 ○布の性質 ○型紙の選択と補正 ○ミシンの扱い方 ○作業着(スモック)の製作 ○調理室の利用方法と注意 ○調理実習	○食生活と文化 ○栄養素の働き ○食品の調理上の性質と調理方法 ○調理実習 ○休着(ルームウェア)の製作 ○ロックミシンの扱い方	○食品の選択と調理 ○食品の調理上の性質と調理方法 ○調理実習 ○消費者としての自覚 ○購入方法と支払方法 ○消費者の権利と責任 ○持続可能な消費生活	○これからの人生について考える ○自分らしい生き方と家族 ○高齢者と関わる ○社会と関わる ○消費行動を考え、経済的に行動する ○子どもと関わる ○食生活をつくる	○衣生活をつくる ○快適な衣服と安全性 ○衣服の計画と管理 ○被服製作の基本 ○ライフステージと住まい ○住空間の計画 ○健康で安全な住まい ○住政策と住まいの課題 (選択食物) ○食事の意義と役割 ○食生活の現状と今後の食生活 ○栄養素の種類と働き ○調理実習	(選択食物) ○五大栄養素 ○栄養所要量 ○カロリー計算 ○栄養状態の自己管理 ○食文化とマナー ○和洋中の基本および応用調理 ○献立作成 (選択被服) ○平面構成 ○被服製作(浴衣) ○浴衣の着装
	●技術分野 ○プログラミング講座 プログラミング的思考や基礎・基本操作を学ぶ講座を実施					

心を形にして美しい振る舞いを身につけます

中学では礼法の指導を3年間通じて2週間に1度、日常の授業として行っています。授業では学校創立以来、小笠原流礼法の形を基本として、落ち着いたある自然で美しい振る舞いを身につけることを目的とした指導が行われています。

＜各学年の内容＞

1年生:「基本動作の習得」立礼、座礼での基本的な動き、基本的な品物の受け渡し、挨拶の言葉など日常生活での簡単な作法を学習していきます。

2年生:「日常生活での作法」1年生で学んだ基本動作をもとに、席順、食事作法、ふすまの開閉、座布団の扱い、テーブルマナーなど日常生活でのさまざまな作法の形を学習します。

3年生:「伝統的なしきたりとしての作法」拝礼の作法、訪問のマナー、贈り物の形と作法、いろいろな品物の受け渡しなど、社会人として人とお付き合いをしていくうえでの大切な作法の形を学びます。

このように中学校3年間で、一人前の女性として身につけてほしい作法の形を、一つ一つ実際に体を動かしながら学んでいきます。そして高校では、1年生でのマナー講座、2年生での礼法授業で、より実践的な大人としてのマナーの形を学びます。



中学1年生のころはまだ動きも堅く、礼もぎこちないのですが、3年生になるころには落ち着いたあるきれいな礼ができるようになります。そして高校生になると精神的にもずっと大人になり、捉えかたも違ってきます。

中高6年間の精神的に大きく成長する時期に、きちんとした作法の形を学ぶことは心の発達にも大きく影響し、身についたきれいな礼は社会に出た時に大きな力となることと思います。また、日本の伝統ある美しいしぐさ、言葉、礼の形を学んでいくことによって、穏やかで豊かな心を育んでほしいと願っています。

学年	前期		中期		後期	
	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	高校 1 年	高校 2 年	高校 3 年
目標	○家庭・学校・社会などで人間としてまもらなければならない心・考え方を養うとともに、現代の生活様式にあった礼儀正しい言語・動作・社会生活上の常識を身につける。					
内容	○礼儀作法について ○学校生活での心得 ○姿勢 ○立礼の基本 ○お弁当の食べ方 ○和室での作法 ○手紙の作法 ○起居動作 ○歩き方 ○めぐり方 ○座礼の基本 ○包み方、結び方、畳み方 ○みかんの食べ方 ○1年のまとめ	○行き違いの礼 ○前通りの礼 ○室の席次 ○日常の食事マナー ○テーブルマナー ○襖・障子の開閉 ○座布団のすめ方、座り方 ○品物の持ち方 ○お茶のすめ方、受け方 ○接待の心得 ○2年のまとめ	○神仏の拝礼 ○和食の作法 ○訪問の作法 ○浴衣の着付け ○品物の受け渡し ○贈り物の形と作法 ○式典での作法 ○賞状のいただき方 ○3年間のまとめ	○マナー講座 中学で学んだことを日常に活用できるよう、いろいろな面からマナーについて考え、日常生活の身近なことから自分を見つめ直す機会となります。	○拝礼、贈答のマナー ○品物の受け渡し ○面接のマナー など	

生徒の希望を大切に! 生徒の数だけ道がある。

共立では、大学合格をゴールだとは考えていません。あくまでも「誠実・勤勉・友愛」の校訓のもと、社会の中で「時代を超えて翔ばたく女性」を育てることを目標としています。

昨今では、女性の活躍の場も広がり、生徒の志望も多様化しています。このような状況で、生徒一人ひとりがしっかりと自分を見つめ、社会に関心を持ち、偏差値やブランドだけにとらわれることなく進路を決めることを望んでいます。そしてその目標に向けて生徒が努力できるよう、教職員一同サポートしていきます。

○卒業生チューター

本校では放課後、大学・大学院に通う卒業生が進路指導室に待機しています。勉強の質問や進学の相談はもちろんのこと、学校生活の様々な悩み事について良き相談役となっています。

○Kyoritsu Study Room(自習室)

有料にはなりますが、下校時刻の後も20時まで学習することができる施設があります。常駐するチューターに質問もできる体制を整えています。



●主要大学への過去3年間の合格実績推移〔合格者数は現役生+過年度生、○囲みの数字は過年度生数〕

国・公立大学(大学校含む)			
2024年度			
東京科学大学3 東京外国語大学2 筑波大学3 お茶の水女子大学1 東京藝術大学1① 千葉大学3 東京都立大学1① 電気通信大学1 福島大学1① 埼玉大学1 山形大学1 新潟大学1 信州大学1 山口大学1 長野県看護大学1			
2023年度			
北海道大学1 東北大学1 筑波大学1 千葉大学7① 電気通信大学1 東京医科歯科大学(医)2① 東京外国語大学2 東京学芸大学1 東京工業大学1 一橋大学1 富山大学1 静岡大学1 大阪大学1 東京都立大学3 横浜市立大学1 富山県立大学1 金沢美術工芸大学1 防衛医科大学校1			
2022年度			
東北大学1 埼玉大学2 群馬大学1 千葉大学1 お茶の水女子大学2 電気通信大学1 東京医科歯科大学1 東京海洋大学1 東京外国語大学2 新潟大学2 徳島大学(医)1 島根大学(医)1 琉球大学1 都留文科大学1 横浜市立大学1 奈良県立医科大学1 防衛医科大学校1			

私立大学	2024	2023	2022
早稲田大学	35①	46	21
慶應義塾大学	29⑤	32①	16
上智大学	22	44	15
国際基督教大学(ICU)	4	2	1
東京理科大学	31	18①	23
学習院大学	17	20①	19③
明治大学	60②	87	37①
青山学院大学	33①	26	23①
立教大学	74②	79	58①
中央大学	20①	30③	22③
法政大学	36	37	35①
津田塾大学	10①	7	12③
東京女子大学	15	29	33③
日本女子大学	26	30②	31①
成蹊大学	23	4	14
成城大学	15	15	19

私立大学	2024	2023	2022
明治学院大学	30	31	18
國學院大學	11	15	15①
日本大学	40③	18②	58③
東洋大学	39③	25①	49①
北里大学	14	10	11
順天堂大学	5	12①	13
聖路加国際大学	1	4	3
東邦大学	6	8	11②
杏林大学	3	4	6①
東京薬科大学	2	2	4
東京農業大学	11	23④	14
東京電機大学	9	3①	3
芝浦工業大学	12	8	9①
昭和大学	2	2①	7②
多摩美術大学	8②	1	7
武蔵野美術大学	5①	2	5
卒業生数	302	300	311

●過去3年間の医学部医学科合格実績

約40%(3クラス)が理系選択者で、特に近年は医学部医学科への志望が高まっています。

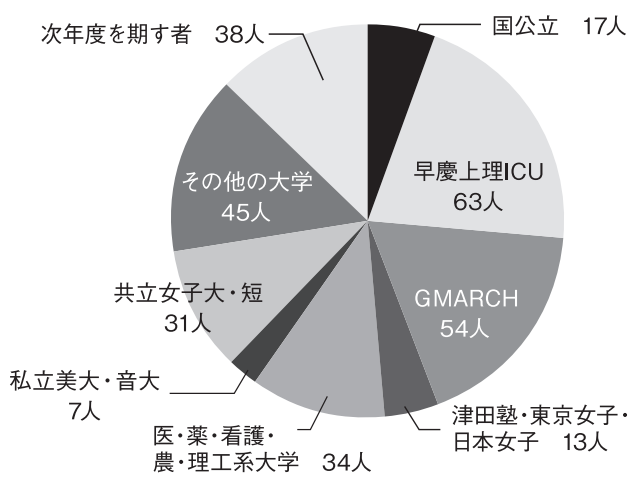
(国公立)	(私立)
筑波大学	1
徳島大学	1
島根大学	1
東京科学大学	1①
(東京医科歯科大学)	
埼玉医科大学	8②
岩手医科大学	2
杏林大学	1
東京女子医科大学	7③
東海大学	1
東邦大学	1
日本大学	1①
帝京大学	2①
東京慈恵会医科大学	5
北里大学	1
国際医療福祉大学	4②
兵庫医科大学	1①
近畿大学	1①

●主な指定校推薦の大学と人数(昨年度実績・一部抜粋)

早稲田大学	文化構想	1名	中央大学	法	1名
	文	1名		商	1名
	教	1名		文	1名
	法	1名		理	1名
	人間科学	1名		国際経営	1名
	基幹理工	1名		国際情報	1名
	先進理工	1名	法政大学	G I S	1名
慶應義塾大学	法	1名		理	2名
	商	2名		生命科学	1名
	薬	1名	学習院大学	経	1名
	理	1名		文	2名
東京理科大学	創域理工	4名		理	4名
	先進工	4名	津田塾大学	総合政策	1名
	理1部	2名		学	4名
	薬	2名	東京女子大学	現代教養	4名
	経営	1名	日本女子大学	人間社会	1名
国際基督教大学	教	2名		理	2名
上智大学	外国語	1名		家政児童	1名
	理	1名		文	2名
明治大学	文	1名	北里大学	理	1名
	理	1名		薬	2名
	経	1名	昭和大学	看	1名
	営	1名		歯	1名
	コミュニケーション	1名		薬	1名
	総合数理	1名	東京歯科大学	歯	1名
立教大学	経	1名	日本大学	理	1名
	済	1名		法	1名
	法	3名	日本赤十字看護大学	看	1名
	現代心理	1名	聖路加国際大学	看	1名
青山学院大学	観	1名	東邦大学	看	1名
	総合文化政策	1名		理	8名
	経営	1名		薬	1名

●現役生の進路(302人)

近年は理系や芸術系を含め、生徒の希望進路に沿った多様な大学・学部へ進学しています。



(GMARCH・・・学習院・明治・青学・立教・中央・法政
医・薬・看護・農・理工系大学・・・北里・東邦・東京農業・芝浦工大・明治薬科等)

●共立女子大学・短期大学への進学状況

本校は共立女子大学の併設校として様々な優遇措置があり、例年10%の生徒が同じ神田一ツ橋キャンパス内にある大学へ進学しています。

なお、高3生が大学の一部科目を修得し、進学後に単位設定される「KWU 高大連携プログラム」も用意されています。

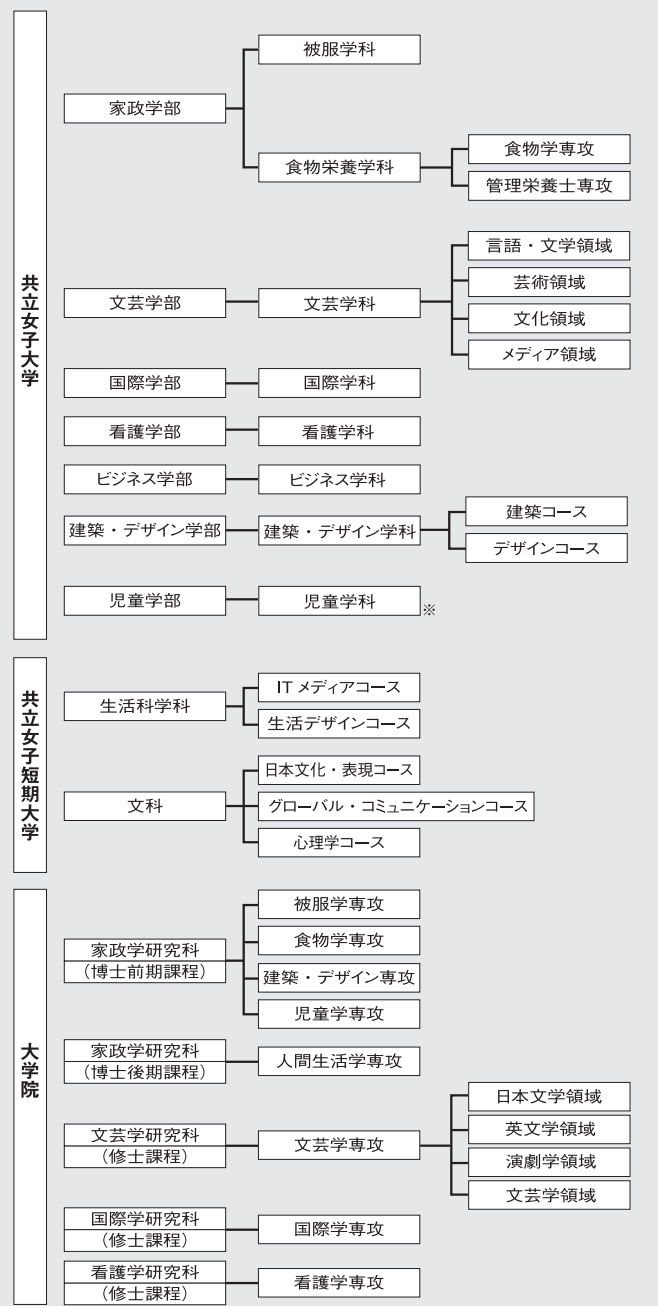
KYORITSU WOMEN'S UNIVERSITY [共立女子大学]



大学には家政学部、文芸学部、国際学部、看護学部、ビジネス学部、建築・デザイン学部、児童学部※の7学部と大学院を、短期大学には生活科学科、文科を神田一ツ橋キャンパスに整えています。

時代の要請に応え、「リーダーシップ」「情報化」「国際化」を推し進める大学の教育姿勢は、多くの企業からも社会からも高い評価を獲得し、卒業生の多くがビジネスや文化の第一線で活躍しています。

※2026年4月開設予定(構想中)



【ランゲージスクエア】

日本語以外の語学を実践的に学ぶ場所として、異文化理解や国際交流を視野に入れた国際色豊かな「ランゲージスクエア」という施設があります。外国人数員が常駐し、授業や放課後の活動に利用します。気軽に訪れ、英語をはじめとする諸外国語に、より慣れ親しみ進んで学習に取り組める環境となっています。ここで、外国人講師とのコミュニケーションを通して、英語で自分をリアルタイムに表現する練習ができます。また、季節毎に企画される行事（イースターやクリスマス）に参加したり、洋書や海外の新聞を閲覧したり、海外のニュースや映画、ドラマ、音楽を視聴したりすることを通して、世界観を広げ、外国の文化や知識を得ることができます。まさにグローバルな世界にはばたく共立生の充実した空間といえるでしょう。

【オンライン英会話】（中学全員・高校希望者）

自宅のパソコン、タブレットを利用した「オンライン英会話」を導入しています。英語によるコミュニケーションを重視する時勢において、外国人との会話に抵抗感を少なくし、授業以外にも「話す」「聞く」機会を増やすことが目的で、1対1でのレッスンを長期休暇中の課題や授業内で受講できるよう契約しています（1回25分・年間10回）。チケットを購入すれば、年間契約回数を越えて利用することもできます。

【中国語・フランス語】

中高共通の自由参加型の課外講座として、週1回「中国語会話講座」を開設しています。また、高校2年・3年次の選択授業として「中国語」「フランス語」が第2外国語として選択でき、世界に向けた広い視野を養っています。

【英字新聞プロジェクト・模擬国連】（希望者）

■英字新聞プロジェクト

本校の魅力と地域の紹介を目的とした英字新聞“Kyoritsu Times”を作成しています。このプログラムは、日本の英字新聞の代名詞とも言えるJapan Timesが企画した、グローバル人材育成を目的とした教育プログラムです。完成までに、「新聞の書き方」「取材の仕方」「英文記事のおこし方」「構成の仕方」など様々な講座が用意されています。新聞作成の過程で、思考力・判断力・表現力・社会性・リーダーシップを身につけます。

■模擬国連

グローバル・クラスルーム日本委員会が主催する「全日本高校模擬国連」に参加しています。模擬国連とは、高校生がある国の大使として、実際の国連会議のようなプレゼンテーションやディスカッションをする活動です。練習会を経て予選にエントリーし、11月に行われる全国決勝大会にむけて充実した取り組みを行っております。英語力はもちろん、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力が身につきます。活動自体は高校生対象ですが、中学生も練習会に参加しています。

【イングリッシュシャワー】（中1～3希望者）

イングリッシュシャワーは、校内のプチ留学ともいうべき企画で、長期休暇の3日間、10人前後のグループで外国人講師と過ごすグローバル教育プログラムです。海外研修を念頭に、海外の文化や風習を紹介してもらうほか、「発表」に力点を置いた英語での授業を行います。発音の特訓・自己紹介の要領・質問の方法・会話の進め方・意見の発表の仕方のコツなどをゲームやDVD視聴を交えながら、楽しく効果的に教えてくれるため、学年の過半数が参加する人気企画です。



【Bank of America Event】（中高生・希望者）

アメリカのメガバンクの1つであるバンク・オブ・アメリカが主催するイベントに参加しています。この企画はバンク・オブ・アメリカに勤務している本校の卒業生の働きかけによって実現し、「数年後に社会で働く女性に対して将来の学業やキャリアの選択肢を広げる」こと、「英語を駆使して働く世界に触れ、グローバルマインドを育む」ことを目的にした大変好評なプログラムになっております。社内ツアー・コンピュータプログラミング・株式トレーディングゲーム・ディスカッションなどのプログラムを年間数回実施しております。

【海外大学進学推薦制度】

※P21をご参照ください。

【各種海外研修】

中高生が参加できる春季・夏季の海外研修プログラムを複数用意しております。いずれも英語研修と現地校での体験授業があり、観光など充実したアクティビティを行います。ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の文化や習慣についても学びます。

◇カナダ夏季研修（中2～高2希望者）

（中学）研修地：バンクーバー / 期間：約2週間 / 参加生徒数：25名 / 内 容：現地校での英語研修・学生寮

（高校）研修地：バンクーバー / 期間：約2週間 / 参加生徒数：25名 / 内 容：現地校での英語研修・ホームステイ

◇ニュージーランド夏季研修（中2～高2希望者）

（中学）研修地：オークランド / 期間：約2週間 / 参加生徒数：25名 / 内 容：現地校での英語研修・ホームステイ

（高校）研修地：クライストチャーチ / 期間：約2週間 / 参加生徒数：25名 / 内 容：現地校（姉妹校St. Margaret's College）での英語研修・ホームステイ

◇オーストラリア春季研修（中3～高2希望者）

研修地：パース / 期間：約10日間 / 参加生徒数：40名 / 内 容：現地校での英語研修・ホームステイ

◇シンガポール春季研修（中1～中3希望者）

研修地：シンガポール中心部 / 期間：約10日間 / 参加生徒数：40名 / 内 容：現地校での英語研修・ホテルおよびホームステイ

◇アメリカ春季研修（中3～高2希望者）

研修地：サンディエゴ / 期間：約10日間 / 参加生徒数：20名 / 内 容：現地校での英語研修・ホームステイ

◇イギリス春季研修（高1・高2希望者）

研修地：ハーロウ / 期間：約11日間 / 参加生徒数：25名 / 内 容：現地校での英語研修・ホームステイ



【各種ターム留学】（高1希望者・校内選考）

高校1年生を対象に2つのターム留学を用意しています。ターム留学とは、1～3週間の短期の語学研修とは違い、長期留学の短縮版であると考えます。ターム留学では、様々な語学研修の目的となる「言語学習」・「異文化体験」を超えて、現地の人として生活していくことが大切になります。学校では、自分だけのカリキュラムを作って授業に出席し、その学校の生徒として学校生活を送ることになります。ホームステイでは、「ゲスト」ではなく「ファミリー」として生活しなくてはなりません。ターム留学は「体験」というより「生活」そのものです。なによりも大事な目的はもちろん英語力アップですが、語学以外にも、学校やホームステイ先での人とコミュニケーションを通してグローバルマインドも養われます。

◇ロングターム留学プログラム（約10ヶ月間）

カナダのブリティッシュコロンビア州（バンクーバー地域）のメープルリッジ・ピットメドウズ教育委員会より、パートナー校として認定されており、学区にある6つのハイスクールのうち1つのハイスクールとのロングターム留学が可能です。メープルリッジ・ピットメドウズ教育委員会はカナダの西海岸、バンクーバー国際空港より約1時間の場所に位置します。公立の小・中・高等学校を管轄する教育委員会で、質の高い教育プログラムを準備しています。

派遣期間：9月から翌年6月までの10ヶ月間

定員：1～2名

（成績面・生活面・健康面などを考慮し、学内選考を経て留学生を決定）

◇ショートターム留学プログラム（約2ヶ月間）

ニュージーランドの首都ウェリントンにある名門女子校で2か月間お世話になります。ニュージーランドの学校はほとんどが4学期制で、2月から始まる第1学期に合わせて渡航します。

派遣校例：Wellington East Girls' College (Wellington)

Sacred Heart College (Lower Hutt)

ST Catherine's College (Wellington)

派遣期間：1月下旬から4月上旬までの約2ヶ月間

定員：最大10名

【海外大学進学推薦制度】

自己の将来の夢や目標の実現のために、また、専門分野や学問を深く追究するために、日本の大学と同様に「海外の大学」も進路選択の1つとして捉え、近年、海外大学への進学を希望する生徒が増加しています。そのような海外大学への進学を希望する生徒やご家庭のニーズに合わせて、指定校推薦のような形で海外大学やコミュニティーカレッジへの合格を保証する「共立女子中学高等学校海外大学進学推薦制度（以下、海外大学進学推薦制度）」があります。

本制度ではグローバル教育プログラムの企画運営に関わっている株式会社アイエスエイが実施する海外大学進学協定制度を通じて海外大学進学への支援を行っています。一人ひとりの英語力に応じたルートで進学を目指すことができる制度のため、高い英語力は必ずしも求められません。「海外大学を卒業したい」「海外大学での学びを活かして社会に貢献したい」といった強い想いを重視した入学審査で進学先が決定します。また、学校の推薦を受け本制度に申請することで、いずれかの海外大学またはコミュニティーカレッジへの合格が保証される他、大学選択から進学まで海外大学進学に精通したエージェントによるサポートを受けることができますので、安心して進学準備を進めることができます。

この海外大学進学推薦制度には以下の3つの進学方法があります。

① Go Campus進学(奨学金保証進学)

北米大学奨学金進学プログラム (Go Campus Academic Program) で返済不要の奨学金を獲得し、北米の大学へダイレクトに進学できます。

② 2+2進学(コミカレ進学)

世界トップクラスの大学への編入実績が豊富なアメリカのコミュニティーカレッジ (コミカレ) への進学を目指します。比較的入学基準が穏やかなコミカレなので、出願の負担感が軽減されます。

③ パスウェイ進学(合格保証進学)

世界の大学ランキング500位以内の大学を多数含む対象校にパスウェイやファンデーション経由で進学します。

※この海外大学進学推薦制度の説明会を毎年開催しております。



【長期休暇講座 夏季・冬季・春季】

国・英・数の3教科(基礎と発展から選択)の補習や受験対策のみならず、普段の授業では扱うことができない分野や教養講座、フィールドワークまで、その内容は多種多様です(1講座1,500円)。

【2024年度夏季に実施された講座の一例】

「陰陽師 安倍晴明の読書を読む」(国語)、「英作文講座」(英語)、「図形と方程式演習」(数学)、「解剖講座」(理科)、「ディズニーde学ぶ世界史」(社会)、「広告講座」(教養)、「デッサンを描こう!」(教養)など例年100講座以上



地図を持って現場に行こう!



大人になったときに知っておきたいお金の話

Q&A

Q1 中高一貫校ということで、授業進度は速く進むのでしょうか。

A1 国語・数学・英語などの基幹教科については、中・高6年間の履修内容を基本的に高校2年生までに終わらせるカリキュラムとなります。当然進度は速くなりますが、その分の授業時間数は確保されていますので、授業を大切にさえすれば、充分に対応できます。

Q2 中学から高校への進学の基準はどのようになっていますか。

A2 学習・成績・生活面で顕著な問題がない場合に、入学が許可されます。中高6年一貫校ですので、中学から高校に進学することを前提に指導しています。

Q3 少人数制や習熟度別授業編成は行われていますか。

A3 英語や数学の授業は、入学時より少人数編成で実施され、さらに生徒一人ひとりの理解度や状況に合わせ、中学1年後期から習熟度別授業を開始します。表現指導を体系的に行う中1～中3の「国語表現」の授業はクラスを2分割しての実施で、きめ細かな指導により、効果をあげています。

Q4 日常的に実施されている補習や補講はありますか。

A4 中学でも高校でも、部活動を入れない曜日を設けてほぼ毎週実施しています。「補習」は指名制で基礎的な内容を、「補講」は任意参加で発展的な内容を扱っています。

Q5 長期休暇中に開設される授業や講座はありますか。

A5 夏季・冬季・春季講座を中高ともに1講座1,500円で開講しています。夏季の場合、中学2・3年生は前期6日間の開講(3日で1講座)で、参加は自由ですが、例年は約8割の生徒が受講しています。高校では前期・後期の計12日間で開講(3日で1講座)し、補講や受験対応講座のみならず、浴衣の着付けなど教養的なものも含めて、100以上の講座が開講されます。また、外部講師によるイングリッシュシャワーなどの英語講座、海外研修も開設しています。詳しくは、P19・20をご覧ください。

Q6 塾・予備校には、どれくらいの生徒が通っていますか。

A6 中学生は小学校時代からの延長で、通塾が安心感に結びついているケースもあるようですが、あくまで少数です。高校2年生以降は通塾者が増えますが、学校の勉強だけでも大学受験に対応できる体制を整えています。なお、学校では午後8時まで残って予習や復習してから帰宅できる「Kyoritsu Study Room」を設置しています。登録制で有料とはなりますが、チューターがついて質問も可能で200名ほどが利用しています。

Q7 共立での「総合的な学習(探究)の時間」への取り組みはどのようになっていますか。

A7 クラスメイトとの様々なワークとフィードバックを基軸に、自らの強みに気づく「共立リーダーシップ開発」を基本としています。学年を追うごとに、その力を発揮する範囲を社会へと広げていくことで、VUCAの時代を生き抜く礎を築きます。

Q8 英検・漢検などの対策や指導はしていますか。

A8 本校は英検の準会場に登録されているので、1次試験(筆記試験)は本校で年1回受験することができます。英語科では、中学卒業時には準2級以上を取得できるよう指導しています。

また漢検も準会場として校内での受験機会を年2回設けています。国語科の漢字テストに漢検テキストを用い、また対策プリントを配布していることもあって、高校1年修了時にはほとんどの生徒が準2級以上を取得しており、毎年漢検協会より表彰を受けています。

Q9 英語4技能の測定や、各技能伸長の対策はありますか。

A9 4技能習得が、昨今の教育改革で大きな課題となっています。本校では英語の各技能をスコアで評価するGTECを中2～高1で、また英語4技能資格試験として多くの大学入試で活用されている英検は校内で受験できます。

なお、高2からは、ライティング添削講座等を業者と提携して設け、また本校のネイティブ教員が希望者にスピーキングを中心とする個別指導を放課後に行っています。

Q10 在学中に海外留学することはできますか。

A10 中学では在籍しながらの留学は認めていません。高校では、一般的には休学留学ですが、進級留学もあります。進級留学は、成績などの一定の条件と、帰国後の試験によって、留学先での履修を本校における履修とみなし、単位の修得を認定して、進級した学年に復学できる制度です。また、少人数ではありますが、高1のカナダ・ニュージーランドへのターム留学の機会もあります。詳しくは、P19・20をご覧ください。

Q11 共立女子大学の受験と外部大学の受験との関係はどのようになっていますか。

A11 本校の特色は「進路の自由と安定」です。共立女子大学を受験する際には様々な優遇措置があり、他大学を併願できる制度もあります。例年、多くの生徒が合格しており、ここ数年約10%が進学しています。高3生の一部授業参加も可能になり、連携がさらに進みつつあります。詳しくは、P17・18をご覧ください。

Q12 父親の転勤で地方、あるいは海外の学校に転校した後、再び戻ってきた場合に、復学はできますか。

A12 中学1年の研修旅行(7月)まで在籍していた場合、国内外を問わず復学は可能です。ただし転学(退学)後2年以内で、高校1年の8月までに戻ることが条件です。



【生活時間】

予	鈴	8：05
ホー	ム	ル
ーム	ム	8：15～8：25
1	時	限
8：35～9：25		
2	時	限
9：35～10：25		
3	時	限
10：35～11：25		
4	時	限
11：35～12：25		
予	鈴	13：05
5	時	限
13：15～14：05		
6	時	限
14：15～15：05		
終	(月)～(金)	15：15～15：20
礼	(土)	12：30～12：35
清	(月)～(金)	15：20～15：40
掃	(土)	12：35～12：55
下	校	17：30
完	全	下
校	校	17：45

※自習サポートセンター登録者を除く

【制服】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
冬服						冬服					
						夏服					

中学

冬服：セーラー上下(濃紺)・ネクタイ(フェザーホワイト)・ソックス(白・三つ折)・ストッキング(黒)
※オプションとしてセーター(白・濃紺)・コート(濃紺)
夏服：半袖セーラー(白)・ネクタイ(マリンブルー)・スカート(濃紺)・ソックス(白・三つ折)
※オプションとして長袖セーラー(白)

高校

冬服：ブラウス(パープルピンク)・ブレザー(濃紺)・ネクタイ(青チェック)・スカート(濃紺)・ハイソックスまたはショートソックス(濃紺)
※オプションとしてセーター(白・紺)・コート(濃紺)・スラックス(濃灰)
夏服：半袖ブラウス(パープルピンク)・スカート(濃紺)・ハイソックスまたはショートソックス(濃紺)
※オプションとしてベスト(白)・スカート(チェック)・スラックス(濃灰)

【教職員データ】

専任教諭 106 (男48・女58 平均年齢44歳) 講師 65 (男18・女47)

国語科	16	社会科	13	数学科	18	理科	11	体育科	9
芸術科	5	外国語科	25	技術家庭科	5	養護教諭	3	司書教諭	1

職員

事務	7	カウンセラー	3	校医	2	助手	7
----	---	--------	---	----	---	----	---



中学・高校時代は、友人や家族との関係、勉強のことなど、戸惑うことや話にくいことが増えてくる時期です。また、体調不良や病気・けが等、身体上の悩みを抱える場合もあります。

本校では生徒が充実した学校生活を送れることはもちろんのこと、保護者の方々にも安心していただけるよう、担任、副担任をはじめとした学年の教員や部活動顧問、教科担当者以外にも、さまざまな場所で相談体制を用意しています。

【保健室】

中学、高校で2室あり、3名の専任養護教諭で担当しています。

また、保健委員会を通じて「保健だより」も発行しており、その時に話題になっている健康情報や季節に合わせた内容を生徒に向けて発信しています。

【カウンセリング室】

毎週火・水・木・土曜日に女性カウンセラー3名が交代で待機しており、友人関係など学校生活の悩みについて相談できます。なお、お子様のことについて保護者の方からの相談も受け付けています。

【学校医】

第2、3、4週の木曜日の昼休み・放課後に相談することができます。

【よろず悩み相談室】

毎週土曜日の放課後に、各学年の相談係教諭や養護教諭・司書教諭がどんな相談でも対応できるように待機しています(前日までに申込が必要)。

【歯科指導】

中学1年生を対象に、学校歯科医の先生から指導を受けます。講話だけでなく、口腔観察やブラッシング指導を歯科衛生士から全員が直接受けることで、生涯に渡っての大切な知識を身につけます。

【その他】

個別の健康相談だけでなく、必要とされる学年には学校医や学校薬剤師、カウンセラーによる講堂講話も随時行っています。



保健だより



歯科指導(中1)



中学保健室



カウンセリング室

部活動

【中学の活動】

部活動には、ホームルーム活動や授業だけでは得ることができない価値ある学びがあります。規律ある上下の人間関係や集中力、協調性、時間に対する観念などは、部活動を通して得られる貴重な財産といえるでしょう。

学校としても積極的に支援しており、現在約95%の生徒がいずれかの部に所属して活動を行っています。



【活動日一覧】

	部 名	活 動 日 (○定期練習)					
		月	火	水	木	金	土
文化 部	演劇部	○		○		○	○
	英語部	○				○	
	音楽部	○			○	○	
	科学研究部(科学班)	○				○	
	科学研究部(生物班)	○		○			
	吹奏楽部	○		○		○	○
	写真部	○		○		○	
	書道部	○			○		○
	美術部(美術班・デザイン班)	○				○	
	放送部	○				○	
	食物研究部						○
	手芸部			○			
	茶道部(遠州流)		○			○	
	茶道部(不白流)	○					○
	能楽部	○		○	○		
	弦楽合奏部	○		○		○	
運動 部	古典文化部			○	○		○
	卓球部	○		○		○	○
	ダンス部	○		○		○	○
	ソフトテニス部	○		○		○	○
	バスケットボール部	○		○		○	○
	バトン部	○		○		○	○
	バドミントン部	○		○		○	○
	バレーボール部	○		○		○	○
	陸上部	○		○		○	○
	太極拳部	○		○		○	○
課 外 講 座	剣道部	○		○	○		○
	華道 古流			○			
	華道 小原流			○			
	華道 草月流			○			
	華道 池坊			○			
	中国語会話講座			○			

●平常の部活動

活動終了時刻—午後5時30分
下校完了時刻—午後5時45分
定期試験前の1週間—活動不可

※活動日が変更することがあります。



【高校の活動】

本校の生徒は、ほぼ全員が大学に進学するため、実質的な活動は3年春から夏休み頃で終了となります。通常の活動は週3日以内で勉強との両立が問題になることはほとんどありません。限られた時間や場所でも工夫を凝らし、都大会や全国大会で活躍する部も少なくありません。

参加率は、約85%となっており、課外講座まで含めると90%近い生徒が何らかの活動をしています。



【活動日一覧】

	部 名	活 動 日					
		月	火	水	木	金	土
文化 部	文芸部	○		○			
	英語部	○	○		○		
	演劇部		○	○			○
	音楽部	○			○	○	
	写真部		○		○		○
	茶道部(遠州流)		○			○	
	茶道部(不白流)	○					○
	書道部	○			○		○
	映画部		○		○		○
	放送部		○		○		
	美術部(美術班・工芸班・デザイン班)	○				○	
	地理歴史部		○		○		
	食物研究部	○	○		○		
	科学研究部(生物班)	○		○			
	科学研究部(化学班)		○		○		
	科学研究部(地学班)		○		○	○	
運動 部	吹奏楽部		○		○		○
	弦楽合奏部		○		○	○	
	能楽部	○		○	○		
	古典文化部			○	○		○
	バレーボール部		○		○		○
	バドミントン部		○	○	○		
	バスケットボール部		○		○		○
	卓球部		○		○		○
	体操部						
	ダンス部			○	○		○
課 外 講 座	バトン部		○	○			○
	ソフトテニス部		○		○		○
	山岳部	○	○		○		
	歩行部		○		○		
	剣道部			○	○		○
	太極拳部	○				○	○
	陸上部	○		○		○	○
	華道 古流			○			
	華道 小原流			○			
	華道 草月流			○			
	中国語会話講座			○			

●平常の部活動

活動終了時刻—午後5時30分
下校完了時刻—午後5時45分
定期試験前の1週間—活動不可

●合宿(高校のみ)

原則として年1回の校外合宿(5泊6日以内)が認められています。

近年の主な活動結果	
●陸上部 ・第43回高体連第一支部学年別陸上選手権 1年1500m 第2位 都大会出場 ・第65回東京都私立中学高等学校陸上選手権 女子800m 第8位	
●演劇部 ・第77回東京都高等学校演劇コンクール中央発表会 優秀賞	
●文芸部 ・第48回全国高等学校総合文化祭(ぎふ総文)文芸部誌部門参加 ・第47回東京都高等学校文化祭文芸部門中央大会 優秀賞(小説)佳作(文芸部誌「河童」)生徒賞(小説)分科会賞(短歌)	
●地理歴史部 ・全国高等学校鉄道模型コンテスト2023 全国大会 モジュール部門 JR賞物質 ・第11回ハイスchool国際ジオラマグランプリ 審査員 山田卓司賞	
●美術部美術班 ・第52回私立中学高等学校生徒写真・美術展 朝日新聞社賞(高校の部)1名 入選3名 ・第69回 全日本学生美術展 佳作1名 入選4名	
●ダンス部 ・第69回東京都高等学校舞踊研究発表大会 優秀賞 ・第76回全国中学校・高等学校ダンスコンクール 高等学校の部(団体部門) 準入賞3位	
●ソフトテニス部 ・インドア大会予選(団体)ブロック優勝 ・インドア大会本戦(団体)第5位 ・新人大大会ベスト32 第一支部大会第3位	
●バスケットボール部 ・2023年度 東京都高体連春季大会・総体予選・新人大大会 4回戦進出(東京都Dシード) ・2024年度 B支部大会 ブロック優勝	
●音楽部 ・第77回東京都合唱コンクール 金賞 ・第78回東京都合唱コンクール 銀賞 ・春のコーラスコンテスト2025 高等学校の部 金賞	
●吹奏楽部 ・第64回 東京都高等学校 吹奏楽コンクール 銀賞	
●バトン部 ・第41回東京都高等学校バトン連盟選手権大会 第1位 ・第50回バントワーリング全国大会高等学校部門 銀賞 ・第59回バントワーリング関東大会 高等学校の部(バトン編成)第3位(全国大会推薦)	
●写真部 ・第28回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」団体 東京ブロックベスト5入賞	
●太極拳部 ・第5回東京国際武術節 団体種目(太極拳:中高合同チーム)5位 ・2024(第37回)太極拳全国交流大会 団体種目(太極拳:中高合同チーム)4位	
●バレーボール部 ・2025フレンドリーカップ 優勝 ・2024年度 春季大会兼関東大会予選 第1位	
●剣道部 ・令和6年度 東京都高等学校秋季剣道大会 団体戦女子Ⅱ部 第3位	
●弦楽合奏部 ・第12回日本学校合奏コンクール2023全国大会グランドコンテスト 銅賞	

Q&A

Q1 女子校の良さはどんなところにありますか。

A1 本学の建学の精神である「自立した女性」が自然と育っていく環境があることです。部活動や委員会も、すべて女子だけで行い、得意な分野で力を発揮する機会が多く存在しています。また、男子の目を気にすることなく、のびのびと生活することができます。

Q2 クラスや学年の人数も多いようですが、指導が行き届かないというようなことはありませんか。

A2 1クラス約40人で1学年8クラスあります。本校の特長は「面倒見のよさ」と「きめ細やかな指導」であるとの定評をいただき、教職員もそのように自負しています。他校と比べても専任教諭1人当たりの生徒数は平均的で、特に中学では副担任や学年主任など、担任以外の目も多いため、トラブルには敏速に対応できます。

Q3 いじめへの対応はどうしていますか。

A3 いじめに対しては、学校として絶対に許さないという姿勢で臨んでいます。授業やその他あらゆる学校活動において、他を尊ぶ心を育み、いじめ等のトラブルを未然に防止する体制を整えています。また、「カウンセリング室」や「よろず悩み相談室」を備え、万一の場合に「危機管理委員会」や「人権委員会」も設け、生徒がいつでも、どんなささいなことでも「メール」や「電話」を通じて伝えられる仕組みを作っています。

Q4 携帯電話・スマートフォンの持参は可能ですか。

A4 中学では、ご家庭からの持参届を提出していただき、携帯電話・スマートフォンの学校への持参を認めています（校内使用は禁止、登下校中の緊急時のみ使用可）。高校では、届けは必要ありませんが、校内での使用はできません。また、登校・下校の確認を望まれる場合には、「登下校情報メール配信サービス」（任意・月300円）をご利用いただくことができます。

Q5 災害時の対応はどうなっていますか。

A5 災害発生時には生徒全員が校内で3日間は過ごせるよう、食料品・水・毛布・レスキューシート・簡易トイレなどを常備しています。東日本大震災に際しては、約1100名が学校に泊まり、翌日全生徒が無事に帰宅するまで、「緊急メール配信システム」（無料）を通して情報を随時ご家庭にお伝えしました。なお、東京・神奈川の私立校間では、「登下校時の緊急避難校ネットワーク」という協力・受け入れ体制が整備されています。

Q6 土曜日の扱いはどうなっていますか。

A6 平常授業を4時間行っています。幅広い学びや各種の学校行事にも力を入れていますので、週6日制を堅持しています。

Q7 生活指導や校則は厳しいですか。

A7 本校は勉強だけを重視する学校ではありません。社会に出て恥ずかしくない礼儀作法や服装・言葉遣いなどのマナー指導も大切にしています。染髪やパーマ、化粧、ピアスなどのアクセサリ類は禁止しています。私立女子校としては常識的な内容です。

Q8 学校の周りはどのような環境ですか。

A8 都心のもっとも整備された環境の中にあり、安全で落ち着いた雰囲気です。神保町には世界的に知られる古書店街があり、付近には学士会館や出版社・新聞社のビルが立ち並び、北の丸公園や国立近代美術館、皇居の緑深い森や日本武道館もあります。4つの地下鉄路線の駅から徒歩数分で、交通も便利です。

Q9 通学時間はどのくらいの方が多いのですか。

A9 かなり広い範囲から通学しています。通学圏についての規定はなく、45分から1時間以内が平均的で、約3割の生徒は1時間以上となっています。1時間半以上かかる生徒も2%ほどいます。詳しい通学圏については、P37をご覧ください。

Q10 両親とも仕事をもっているのですが、毎日お弁当を持たせなければなりませんか。

A10 お弁当を持参し、教室で食べるのが原則です。ただし、中学1年生の4月中旬から利用できる中高専用の食堂があり、予約なしでも食堂で食べることや、お弁当やパンをテイクアウトすることも可能です。

Q11 部活動は盛んですか。加入率はどれくらいですか。

A11 中学での参加率は例年約95%、高校では約85%です。発達段階もあり、中・高の部活動は一部を除いて基本的に別活動となっています。中・高とも平日の活動曜日や時間は限られており、勉強との両立は充分可能です。詳しくはP25・26をご覧ください。

Q12 活躍している部活動、ユニークな部活動を教えてください。

A12 ダンス部やバトン部は例年、外部大会で好成績を残しています。球技系では近年、バスケットボール部の活躍が目立っています。珍しい部としては、能楽部や太極拳部があります。また茶道部が2流派（遠州流・不白流）、書道部、古典文化部（百人一首・囲碁・将棋等）、さらに課外講座（兼部可）として華道4流派（小原流・古流・草月流・池坊）が設置されるというように、日本の伝統文化に接する機会にも恵まれています。

Q13 PTA活動はどのようなものですか。

A13 学級PTAは中学で年2〜3回、高校で年2回程度開かれます。委員については、各クラス常任委員1名、委員2名を選出し、文化部、生活部、広報部に分かれて活動します。6年間で必ず1回のようなルールはありません。また、来校していただく回数は土曜を中心にそれほど多くありませんので、お仕事をされている方でもお引き受け頂いています。詳しくはP36をご覧ください。



【募集要項・入試関連】

■ 2026年度募集要項・諸経費	P29
■ 過去の入試状況	P30
■ 各入試の出題方針・結果・出題例	P31〜34
● 国語.....P31 ● 算数.....P32	
● 社会.....P33 ● 理科.....P34	
■ 入試&入学 Q&A	P35
■ PTA 活動・保護者向け講座・安全管理	P36
■ 通学圏関連	P37,38

2026 年度募集要項

		海外帰国生入試	2/1入試	2/2入試	2/3午後入試 (英語4技能型)	2/3午後入試 (合科型)
募 集 人 員		25名	130名	110名	15名	40名
出 願 資 格		※下記①参照	2026年3月小学校卒業見込みの者のうち、女子			
出 願 方 法		インターネット出願のみ（詳しくはHP等をご覧ください）				
試 験 日		2025年 11月30日(日)	2026年 2月1日(日)	2026年 2月2日(月)	2026年 2月3日(火)	
合 格 発 表 (インターネット発表のみ)		11月30日(日) 17時	試験当日19時		2月4日(水)17時	
学 科 試 験	科 目	国語・算数	国語・算数・社会・理科		英語4技能テスト・算数	合科型論述テスト・算数
	時 間	国語・算数 各45分	国語・算数 各45分、 社会・理科 各30分		英語60分、算数45分	合科60分・算数45分
	配 点	(国or英)・算各100点、 (200点満点)	国語・算数 各100点、社会・理科 各50点 (300点満点)		英語・算数 各100点 (200点満点)	合科・算数 各100点 (200点満点)
入 学 検 定 料		25,000円	2/1、2/2、2/3（午後）入試のそれぞれ1回出願は25,000円、2回分の同時出願は40,000円、3回分の同時出願は50,000円(申込み後や決済後の追加出願は割引の対象外)			
返 金		なし	入学手続き完了者に限り返金をいたします(繰上合格者は除く)。複数回の同時出願者で、2/1入試・2/2入試で合格し手続きをした場合、合格により事後受験しなかった入試の検定料分を返金します。返金額は、同時出願で納入した検定料から、出願した最初の日程で合格し手続きをした場合は25,000円を、2回目の日程で合格し手続きをした場合は40,000円を減じた金額となります。なお、2/3午後入試での合格・手続きに関しては、返金はありません。			
入 学 金 納 入		各合格発表時～2月4日(水) 14:30			合格発表時～2月9日(月) 23:59	
入 学 手 続		2月4日(水)12:30～15:00(本校窓口)※下記②参照			①2月 5日(木) 8:30～11:00 ②2月10日(火) 8:30～10:00	

※① 帰国生の出願資格は、原則として保護者の海外勤務により、本人が継続して1年以上海外に在留し、帰国して3年以内の者。

※② 海外帰国生入試の入学手続は、2月4日以外に12月1日・2日も可能です。

●入学時にかかる経費(2025 年度 参考)

	中 学	高 校	iPad の一括購入について 本校では、タブレット端末（iPad Wi-Fiモデル）を1人1台学校一括で購入し、教育活動に使用しています。全教室には無線LANを配備しています。費用は3年分の保険・管理システム料を含めて10万円前後です(中1・高1で購入)。なお、自宅に持ち帰ることも可能です。
入学金	¥300,000	¥300,000	
制服(冬服) ※購入時平均	¥59,950 (セーター、追加のソックス等含、コートは含まず)	¥86,460 (セーター、追加のブラウス・ハイソックス含)	
指定用品(上履・かばん・体育着・iPad など)	¥172,360	¥101,110	
制服(夏服) ※購入時平均	¥57,860 (追加の夏セーラー含)	¥67,430 (替えスカート、ベスト、追加のブラウス含)	

●年間経費(2025 年度 参考)

	中 学	高 校	備 考
授業料	¥500,000	¥500,000	4期分納
施設設備維持費	¥240,000	¥240,000	4期分納
旅行代金	¥180,000程度(1・3学年分の合計)	¥150,000程度(2学年)	
生徒会費・副教材費・デジタル教材費 模試代・芸術鑑賞費 等	中1 ¥98,000程度 中2 ¥77,000程度 中3 ¥93,000程度	高1 ¥58,000程度 高2 ¥44,000程度 高3 ¥44,500程度	※高校ではコースや選択科目により額が異なります。
後援会費	¥20,000	¥20,000	

※高校在学者対象に、国の就学支援金制度が適応されます(所得制限あり)。所得により月額9,900円が支給されます(加算制度あり)。

※東京都在住の在校生対象に、東京都の授業料軽減助成金制度が適用されます。

※上記の入学時および年間の経費は、2025年度における実績または予定です。2026年度における金額は異なる場合があります。

過去の入試状況

KYORITSU 6-YEAR EDUCATION

●2/1入試

	2025 年度	2024 年度	2023 年度
募 集 人 員	130 名	130 名	130 名
志 願 者 数	373 名	375 名	368 名
受 験 者 数	344 名	353 名	346 名
合 格 者 数	159 名	160 名	154 名
実 質 倍 率	2.2 倍	2.2 倍	2.2 倍
受験者 平均点	国語(100点満点)	55.7 点	49.1 点
	算数(100点満点)	58.5 点	46.1 点
	社会(50点満点)	31.9 点	29.9 点
	理科(50点満点)	23.2 点	25.9 点
合格最低点(300点満点)		175 点	156 点
			176 点

●2/2入試

	2025年度	2024年度	2023年度
募 集 人 員	110 名	110 名	110 名
志 願 者 数	697 名	644 名	643 名
受 験 者 数	474 名	447 名	459 名
合 格 者 数	218 名	215 名	199 名
実 質 倍 率	2.2 倍	2.1 倍	2.3 倍
受験者 平均点	国語(100点満点)	61.1 点	57.7 点
	算数(100点満点)	57.1 点	59.9 点
	社会(50点満点)	27.5 点	28.0 点
	理科(50点満点)	22.4 点	29.5 点
合格最低点(300点満点)		173 点	180 点
			184 点

●2/3午後入試(合科型)

	2025年度	2024年度
募 集 人 員	40 名	40 名
志 願 者 数	376 名	390 名
受 験 者 数	218 名	231 名
合 格 者 数	65 名	72 名
実 質 倍 率	3.4 倍	3.2 倍
受験者 平均点	合科型論述 (100点満点)	49.0 点
	算数(100点満点)	42.9 点
合 格 最 低 点	101 点	134 点

●2/3午後入試(英語4技能型)

	2025年度	2024年度
募 集 人 員	15 名	15 名
志 願 者 数	38 名	56 名
受 験 者 数	34 名	37 名
合 格 者 数	15 名	16 名
実 質 倍 率	2.3 倍	2.3 倍
受験者 平均点	英語4技能 (100点満点)	73.7 点
	算数(100点満点)	37.6 点
合 格 最 低 点	113 点	111 点

●海外帰国生入試

	2025年度	2024年度
募 集 人 員	25 名	25 名
志 願 者 数	68	87名
受 験 者 数	65	81名
合 格 者 数	44	50名
実 質 競 争 率	1.5	1.6 倍
受験者 平均点	国語(100点満点)	62.2
	算数(100点満点)	59.7
合格最低点(200点満点)	—	116 点

※繰上合格:全体で2023年度35名、2024年度30名、2025年度41名。

※繰上合格は、帰国生入試を除いた2月入試での複数回受験者を対象として、手続・辞退の状況に応じて出しています。

海外帰国生入試について

帰国生入試の試験科目は、国語と算数が必要
です。ただし、英語外部検定試験の資格・
スコアを得点化し、国語の得点と比較して、
高い方を採用して合否判定します。なお、詳
細に関してはHPをご確認ください。

【国 語】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 言葉への興味関心を持ち、論理的な思考力が身についているか。
解答形式 … 漢字の読み書き以外は、記号選択中心(五択)。記述問題は④⑤(帰国は③④)で40字程度を1問ずつ出題。

2. 出題分野・問題数・配点

2/1 入試	①漢字の読み書き…小問8(16点)	②ことばの性質・はたらき…小問4(8点)	③詩…小問5(16点)
	④小説…小問7(28点)	⑤説明文…小問7(32点)	
2/2 入試	①漢字の読み書き…小問8(16点)	②資料読み取り…小問5(10点)	③詩…小問5(15点)
	④小説…小問7(32点)	⑤説明文…小問6(27点)	
帰 国	①漢字の読み書き…小問8(16点)	②ことば…小問5(15点)	③随筆…小問8(37点)
	④説明文…小問7(32点)		

3. 結果(平均点[100点満点]・大問別正答率)

2/1 入試	全体平均点 49.1 点	合格者平均 56.5 点	① 55.0%	② 28.7%	③ 46.6%	④ 68.4%	⑤ 34.3%
2/2 入試	全体平均点 57.6 点	合格者平均点 65.2 点	① 53.3%	② 79.7%	③ 52.9%	④ 54.1%	⑤ 60.4%
帰 国	全体平均点 64.1 点	合格者平均点 71.2 点	① 69.1%	② 71.6%	③ 67.5%	④ 56.7%	

4. 提示文章出典

- 2/1 入試 ③ 韻文(俳句と鑑賞文)…松下 育男『松下育男詩集』(思潮社)2019.12
④ やわらかい文章(小説)…坪田 侑也『八秒で跳べ』(文藝春秋)2024.02
⑤ かたい文章(説明文)…中屋敷 均『わからない世界と向き合うために』(筑摩書房) 2024.02
- 2/2 入試 ③ 韻文(短歌と鑑賞文)…長尾 早苗「星を放つ」『フレア』(七月堂)2022.08
④ やわらかい文章(小説)…石井 桃子「ハツコマ山登山」『においのカゴ: 石井桃子 創作集』(河出書房新社)2014.11
⑤ かたい文章(説明文)…村津蘭「ベナンの妖術師」奥野 克巳監修『世界ぐるぐる怪異紀行: どうして“わからないもの”はこわいの? (14歳の世渡り術)』(河出書房新社)2024.03
- 帰 国 ③ やわらかい文章(小説)…ヤマザキマリ『扉の向う側』(マガジンハウス)2023.11
④ かたい文章(説明文)…長浦 ちえ『日本水引: 結ぶ、祈る、贈る、日本のかたち』(誠文堂新光社)2022.06

5. 出題例

4
縦

A
ハナツ

B
スワル

C
トザス

D
ミル

3
評

A
オコル

B
ハカル

C
ナオル

D
ハサム

2
忠

A
ナオス

B
ツゲル

C
メグミ

D
マコト

1
貨

A
ツクル

B
ホシ

C
タカラ

D
ウデ

根

ハジメ

② 平安時代に作られた本の中には、中国語である漢字を日本古来のことば(和語)に変換して読むための辞書のようなものがあり、左の例のように書かれています。その本で次の1～4の漢字を探したときに、このような和語が出てくると考えられますか。A～Dの中からそれぞれ一つ選び、記号で書きなさい。ただし、からうかいは現代のものに変えています。

【算 数】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 小学校で習う基本的な知識の定着ができているか。
手を動かして(書き並べ)、規則性などを読み取ることができるか。答えを出すために、順序立てて解くことができるか。
解答形式 … 帰国、2/1入試、2/2入試、2/3合科型・英語4技能型は大部分が答えのみを解答欄に記入する。問題によっては、途中式や考え方を記す問題もある。2/3合科型・英語4技能型は同じ問題を出題している。

2. 出題分野・問題数・配点

2/1 入試	①計算…小問2(12点)	②小問集合…小問4(24点)	③図形の通過部分の面積…小問2(12点)
	④規則性…小問3(17点)	⑤グラフの読み取り…小問4(18点)	⑥食塩水と規則性…小問4(17点)
2/2 入試	①計算…小問2(12点)	②小問集合…小問4(24点)	
	③相似な図形…小問2(12点)	④規則性[記述あり]…小問4(17点)	
	⑤グラフの読み取り…小問4(18点)	⑥場合の数[穴埋め形式]…小問9(17点)	
2/3 入試	①計算…小問2(12点)	②小問集合…小問4(24点)	③相似な図形[記述あり]…小問3(16点)
	④グラフの読み取り…小問3(16点)	⑤場合の数[穴埋め形式]…小問5(16点)	
	⑥点の移動と面積…小問4(16点)		
帰国入試	①計算…小問2(12点)	②小問集合…小問4(24点)	③相似な図形…小問4(18点)
	④約束記号[記述あり]…小問3(16点)	⑤グラフの読み取り…小問3(15点)	
	⑥規則性[穴埋め形式]…小問5(15点)		

3. 結果(平均点[100点満点]・大問別正答率)

帰 国	全体平均点59.7点	合格者平均点72.4点	① 77.7%	② 64.2%	③ 46.4%	④ 62.5%	⑤ 49.7%	⑥ 61.2%
2/1入試	全体平均点58.5点	合格者平均点72.7点	① 79.1%	② 52.0%	③ 56.7%	④ 66.8%	⑤ 51.5%	⑥ 58.3%
2/2入試	全体平均点57.2点	合格者平均点69.5点	① 72.7%	② 76.7%	③ 63.7%	④ 36.1%	⑤ 51.5%	⑥ 41.0%
2/3入合科	全体平均点42.9点	合格者平均点59.5点	① 81.2%	② 48.2%	③ 31.2%	④ 38.8%	⑤ 33.6%	⑥ 25.6%
2/3入4技	全体平均点37.6点	合格者平均点51.9点	① 75.0%	② 37.5%	③ 35.0%	④ 32.4%	⑤ 30.0%	⑥ 19.1%

4. 出題例

⑤ 下の図1のような、縦が20 cm、横が30 cm、高さが25 cmの直方体の水そうの中に、底面に垂直な長方形の仕切りが2枚あります。この水そうに、蛇口から①Aの部分に一定の割合で水を静かに入れます。図2のグラフは水を入れ始めてからの時間と、①Aの部分の水面の高さの関係を表したものです。後の各問いに答えなさい。ただし、仕切りの厚さは考えないものとします。

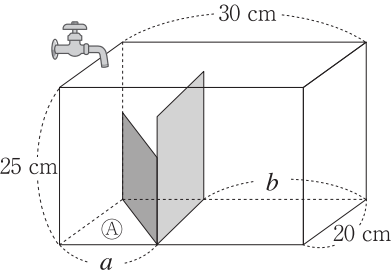


図 1

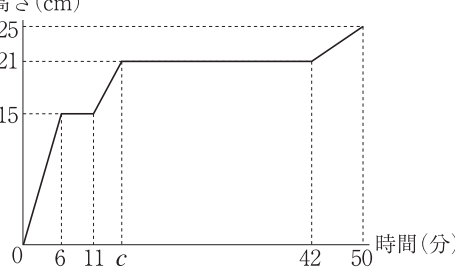


図 2

① 蛇口から出る水の量は毎分何 cm³ ですか。

② 図1の *a* にあてはまる長さは何 cm ですか。

③ 図1の *b* にあてはまる長さは何 cm ですか。

④ 図2の *c* にあてはまる数を求めなさい。

【理科】

1. 出題の基本方針

見たい力 … 自然現象に関する基礎的な知識が身についているか。

理科の知識をつかって科学的推論ができるか。

解答形式 …記号選択または用語・数値を解答する形式の問題を多く出題する。

2. 出題分野・問題数・配点

2/1 入試 ①実験正誤・グラフ…小問5 (7点) ②振り子の運動…小問5 (10点)

③状態変化…小問5 (12点) ④地学…小問5 (11点) ⑤生物遷移…小問5 (10点)

2/2 入試 ①実験正誤・グラフ…小問5 (7点) ②電流と回路…小問5 (10点)

③酸性とアルカリ性…小問5 (11点) ④生物…小問6 (10点) ⑤太陽の動き…小問6 (12点)

3. 結果(平均点[50点満点]・大問別正答率)

2/1入試 全体平均点 23.2点 合格者平均点 24.3点 ① 43.0% ② 69.6% ③ 41.1% ④ 35.0% ⑤ 44.4%

2/2入試 全体平均点 22.8点 合格者平均点 26.0点 ① 33.1% ② 58.4% ③ 52.8% ④ 41.8% ⑤ 35.2%

4. 出題例

3 物質には、固体・液体・気体の3つの状態があり、^{じゅんすい}純粋な物質では、その状態が変化する温度が決まっています。表1は水・食塩・金・銅・銀・アルミニウムの、大気^{ゆうてん ふつてん}の圧力のもとでの融点と沸点を示したものです。後の各問いに答えなさい。

表 1

物質	融点〔℃〕	沸点〔℃〕
水	0	100
食塩	801	1413
金	1064	2856
銅	1084	2562
銀	961	2162
アルミニウム	660	2519

(『理科年表』より作成)

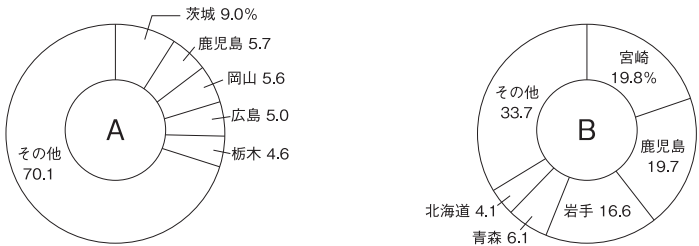
(1) 900℃では食塩はどのような状態ですか。次から1つ選び、記号で書きなさい。

A. 固体 B. 液体 C. 氦体

(2) 700℃で固体、2500℃で液体の状態のものはどれですか。次からすべて選び、記号で書きなさい。

A. 水 B. 食塩 C. 金 D. 銅 E. 銀 F. アルミニウム

問 1. 下線部①に関して、図 1 の A～D は、ブロイラー^{にくようわかどり}（肉用若鶏）、鶏卵^{けいらん}、乳用牛、ぶた肉のいずれかの産出額の都道府県別割合を示したものです。「ブロイラー（肉用若鶏）」を示しているものとして、正しいものを次の A～D から 1 つ選び、記号で答えなさい。



Q&A

Q1 複数回受験での優遇措置はどのようなものですか。

A1 繰り上げ合格は、複数回受験の方を対象としています（出願のみは不可）。ただし、帰国生入試は複数回受験に含めますが、他の日程での得点だけが繰り上げの対象となります。

Q2 繰上合格者は何人くらい出るのでしょうか。また繰上合格者への連絡方法はどのようになっていますか。

A2 手続き状況によりますので、年度によって違いがあります。P30をご参照ください。繰上合格が出る場合の連絡は、一人ずつ確認がとれるまで電話で行います。そのため、出願に際しては携帯電話など自宅以外の連絡先も登録していただきます。

Q3 他校との併願の場合、入学手続きを2回に分けたり、その発表日まで待つような制度はありますか。

A3 1次手続き、2次手続きの制度はなく、2/3午後入試を除いて基本的にどの入試日程も、入学手続きは2月4日です。ただし、帰国生入試は入試翌日・翌々日でも手続きができるようになっています。なお、2/3午後入試の入学手続きは2月5日、2月10日のどちらでも可能です。

Q4 出願の際、調査書などの必要な書類はありますか。

A4 2月入試(2/1・2/2・2/3のすべての日程)では必要ありません。すべてインターネット上での入力によって出願することができます。ただし、帰国生入試においては、「海外在留証明書」(所定用紙)や「成績証明書」(海外の最終成績のコピー)が必要となります。提出方法などの詳細については、募集要項やHPをご確認ください。

Q5 算数を苦手としているのですが、教科による足切りはありますか。

A5 算数に限らず、科目ごとの基準点は設けていません。いわゆる足切りは行わず、合計点をもとに選考します。苦手な科目があっても、ある程度他の科目でカバーすることが可能です。

Q6 受験に向けて、どんな勉強をすればよいのでしょうか。

A6 本校の入試問題(2/1・2/2・帰国生)はあくまで基礎基本重視で、難問奇問の類は出題しないようにしています。国語であれば漢字・語句、算数であれば計算や一行題など基本的な知識や学力を積み重ねておいてください。また、理科・社会は幅広い分野から出題されますので、苦手分野であっても、最低限の基礎知識は身につけておくとういでしょう。類題が出ることもありますので、別日程も含めて過去問の研究も有効です。

Q7 「2/3午後入試(合科型)」の対策はありますか。

A7 「合科型論述テスト」は基礎学力を確認しつつ、受験生の思考力や表現力を多面的に評価する記述型の試験で、理科や社会の知識を用いて答える問題が出題され、知識や理解をもとに自分の考えを論理的に説明することが求められます。一般的な受験勉強で充分対応できる問題ですが、本校の過去問だけでなく、問題集や模擬試験などの記述問題に慣れておくとういでしょう。秋からの「論述チャレンジ講座」もぜひ受講してください。「算数」は2/1・2/2入試と形式や傾向が同じです。

Q8 「2/3午後入試(英語4技能型)」はどのような入試ですか。

A8 「英語4技能テスト」と「算数」の2科目の入試です。「英語4技能テスト」は英語の4技能「読む力」「書く力」「聞く力」「話す力」をみる筆記を含むテストで、60分100点満点です。算数は、2/1・2/2入試と形式や傾向は同じです。

Q9 海外帰国生入試の「資格」と「試験科目」を教えてください。

A9 資格は原則として「海外在住1年以上」で、「帰国後3年以内」です。試験科目は、国語と算数で、2/1・2/2入試と形式や傾向は同様ですが、難易度はやや下がります。また、英語外部検定試験の資格・スコアを得点換算する制度もあります。

Q10 帰国生に関する、受験や入学後における特別な扱いはありますか。

A10 国際クラスを設けるなどはありませんが、すでに英語などで一定の実力を有している生徒がその力をさらに伸ばせるよう、随所で配慮・準備を図っています。英会話や英語の授業では、少人数制の習熟度別授業を実施します。さらに放課後にランゲージスクエアを活用しての英会話のスキルアップやチューターを利用しての苦手科目のフォローアップも受けられます。入学後の転校・復学についてはP22 Q12をご覧ください。

Q11 複数の日程で受験する場合、検定料はどのようになりますか。

A11 2月入試(2/1・2/2・2/3)において、1回のみの出願は25,000円、2回分の同時出願は40,000円、3回分の同時出願は50,000円です。複数回同時出願者で、2/1・2/2入試に合格し、手続きした場合には、合格により以後受験しなかった入試の検定料分が返金されます。



【PTA活動】

本校のPTAは、在学生徒の保護者と教職員から組織されています。学級PTAは中学で年3回、高校で年2回程度開催され、担任やクラスの親睦を深めます。またPTA文化部・生活部・広報部の企画による様々な行事が催されます。

●委員

委員は、各クラスから常任委員1名、委員2名が選出されます。

「6年間で必ず1回」などのルールはありません。来校は土曜日中心で、回数もそれほど多くないので、お仕事をされている方でもお引き受け頂いています。

●構成

次の3部で活動しており、活動内容例は以下の通りです。

文化部：生徒・会員の教養を高める行事の実施

活動例 … 鳩山会館訪問と親睦会

観劇会

大使館での文化交流と親睦会

生活部：生徒・会員の福利厚生、並びに健康・安全増進を図る企画の実施

活動例 … 校内緑化運動(玄関・トイレの花飾りなど)

広報部：機関紙の編集発行、学校説明会のお手伝い

活動例 … 機関紙「沈丁花」編集発行

共立祭・オープンキャンパス・学校説明会のお手伝い



文化部(鳩山会館訪問)



生活部(校内緑化運動)



広報部(説明会相談コーナー)



学級PTA



防災訓練

【保護者向け華道入門講座】

本校の教育を実感して頂くため、保護者向けに池坊の入門講座を土曜午前に開講しています。

【安全管理】

本校では安心してご子女に通っていただけるように、学園で防災センターを設け365日24時間体制で警備員を配置して生徒の安全確保に努めています。校内にはAED(自動体外式除細動器)を5台設置し、不慮の事故にも備えています。

防災備蓄に関しては、非常食、水、生理用品、テント、防寒用レスキューシート、毛布、簡易トイレを3日分用意しています。耐震性についても、2000年度から補強を重ねていたため、東日本大震災においても構造的な被害はほとんどありませんでした。

また、生徒に対してはHR活動での指導、防災訓練などを通じ、防災意識啓発を高めるよう心がけています。

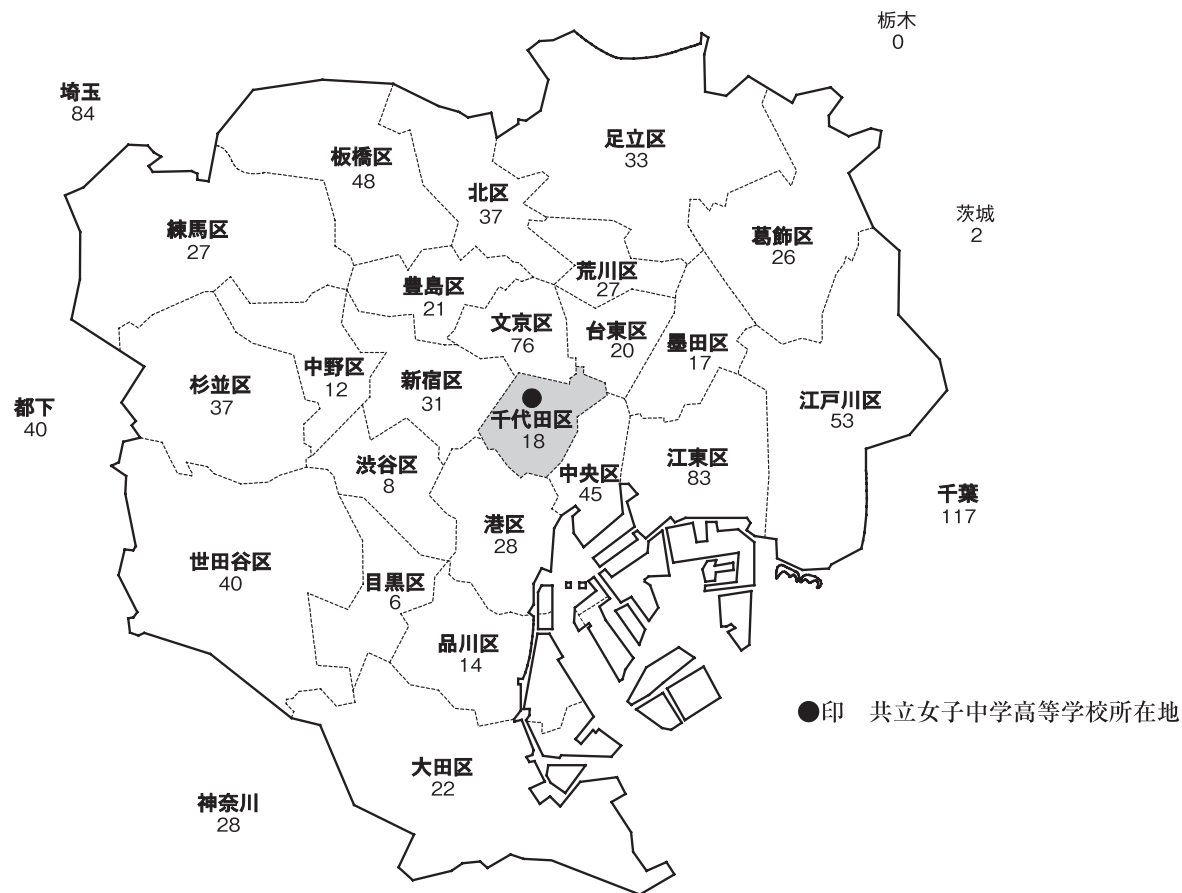
【ご家庭との連絡】

欠席・遅刻については、スマートフォン等で入力できるシステムを導入しており、移動中やお仕事先からでも簡単にご連絡頂けます。自然災害や不測の事態に関しては、「緊急お知らせメール配信システム」でお知らせします。

学校からの様々なお知らせについては、プリント・刊行物だけでなく学習支援プラットフォーム(Classi等)を通じてお届けします。また、ホームページやInstagram等でも教育活動の一端をご覧頂けます。

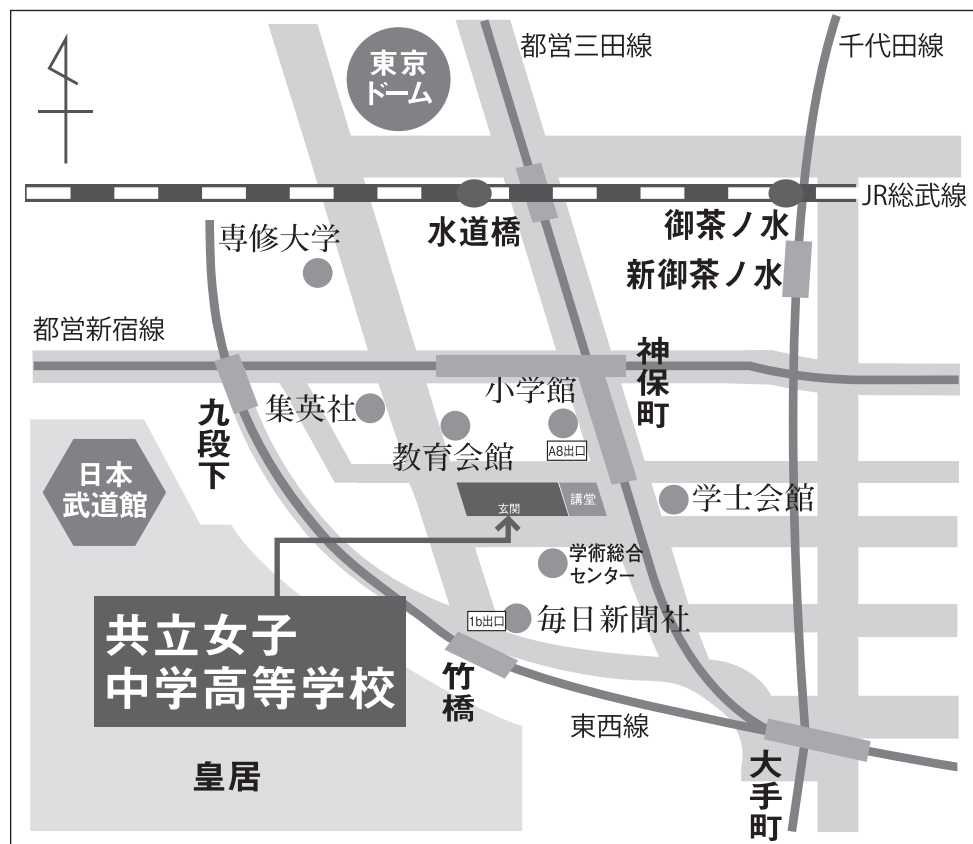
なお、別途「登下校情報メール配信サービス」をお申し込み頂くと、登下校の時間がリアルタイムでメールにて届きます(年間 3,960円、初年度のみ 4,730円)。

●中学生の住所分布(中学生徒数1000名)(2025年4月)



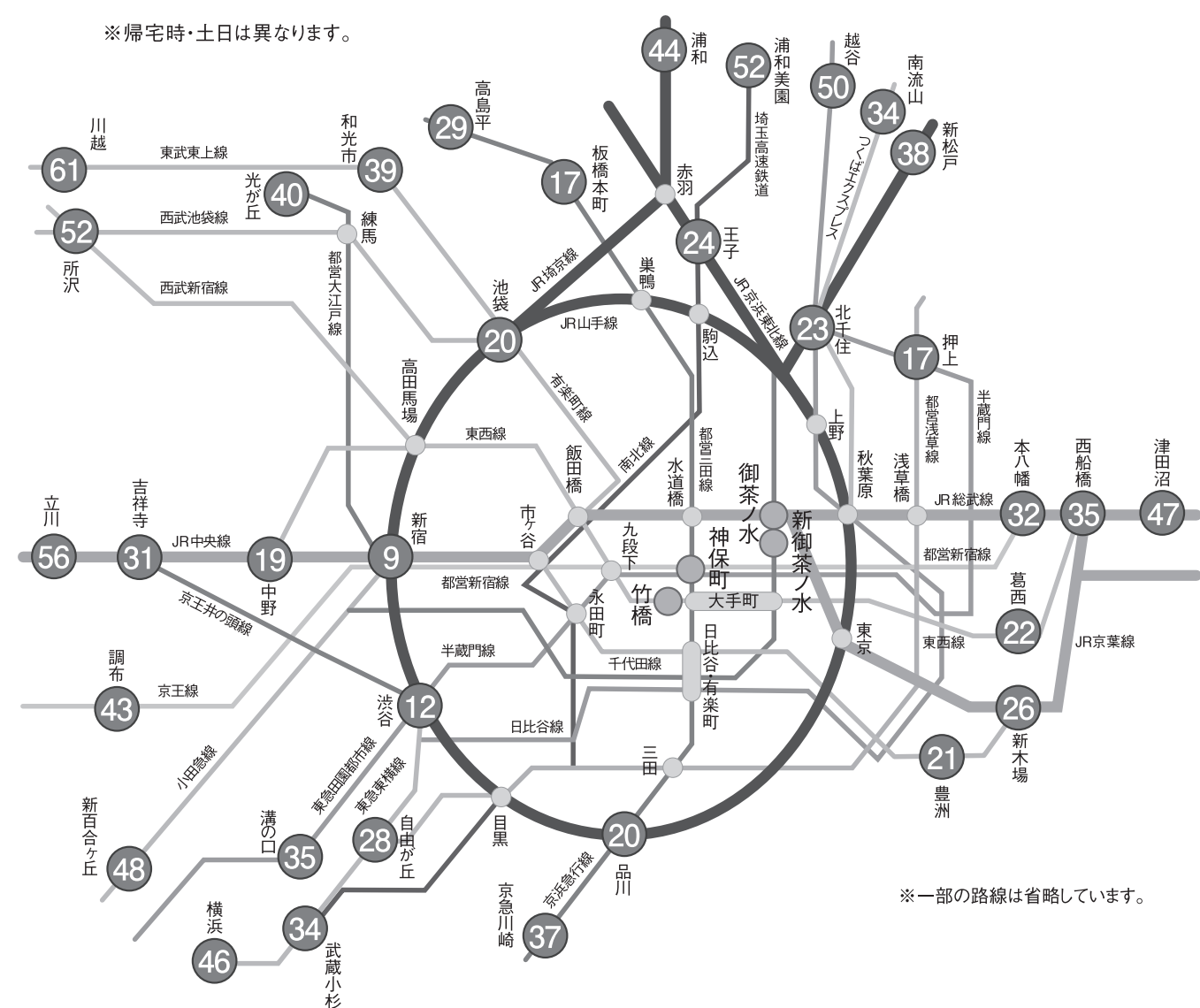
●学園周辺地図

[学校所在地]
千代田区一ツ橋2-2-1



●最寄り駅(神保町・竹橋・新御茶ノ水)までの登校時(平日朝)所要時間の目安

※帰宅時・土日は異なります。



※一部の路線は省略しています。

●最寄り駅から本校までの所要時間

- ★地下鉄都営三田線・新宿線・半蔵門線「神保町駅」徒歩3分
- ★地下鉄東西線「竹橋駅」徒歩5分
- ★地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩12分

※ 所要時間には乗り降り・乗り換え等の時間を含みます。
※ 所要時間は時間帯・歩く速さ等により異なります。

■首都圏主要駅から本校最寄り駅までの所要時間と交通

- ・渋谷←<地下鉄半蔵門線>→神保町 14分
- ・新宿←<都営新宿線>→神保町 9分
- ・池袋←<JR山手線>→巣鴨←<都営三田線>→神保町 20分
- ・中野←<地下鉄東西線>→竹橋 19分
- ・立川←<JR中央線快速>→中野←<地下鉄東西線>→竹橋 56分
- ・調布←<京王線・都営新宿線>→神保町 43分
- ・武蔵小杉←<東急目黒線・都営三田線または東急東横線・地下鉄半蔵門線>→神保町 34分
- ・溝の口←<東急田園都市線・地下鉄半蔵門線>→神保町 35分
- ・新百合ヶ丘←<小田急線・都営新宿線>→神保町 48分
- ・横浜←<J東急東横線>→渋谷←<地下鉄半蔵門線>→神保町 46分
- ・西船橋←<地下鉄東西線>→竹橋 25分
- ・新松戸←<JR常磐線・地下鉄千代田線>→新御茶ノ水 38分
- ・南流山←<つくばエクスプレス>→北千住←<地下鉄千代田線>→新御茶ノ水 34分
- ・浦和←<JR湘南新宿ライン>→池袋←<JR山手線>→巣鴨←<都営三田線>→神保町 44分
- ・浦和美園←<埼玉高速鉄道・地下鉄南北線>→市ヶ谷←<都営新宿線>→神保町 52分
- ・所沢←<西武池袋線>→池袋←<地下鉄有楽町線>→市ヶ谷←<都営新宿線>→神保町 52分
- ・川越←<東武東上線・地下鉄有楽町線>→市ヶ谷←<都営新宿線>→神保町 61分

